○但白川縣伺ノ通、

本條ハ、廐牧場ノ牛馬ヲ盜ミタル者ハ、民間ニ於テハ準論シ、牧場ニ於テハ準盜ニ同シ、是レ其ノ犯ス所ノ數ニ止ル、然ルトモ、其ノ盜ム者ハ、民間ニ於テハ、牛馬ヲ盜ミタル者ハ、其ノ犯ス所ノ數ニ準シテ、盜ニ同シ、然ルトモ、其ノ盜ム者ハ、牧場

○名東縣伺

管内讃岐國阿野郡乃生浦

沖合字瀬居島ハ鯛鮴許多

集合場所付三月頃香川ヨリ

六月ノ中ハ往古ヨリ網漁差免

郡ノ居村ノ者ヘ益モ不勘故

笠ノ其得税ノ利ヲ立有之程

有之格別付金ヲ取モ

素ノ漁場ノ許可ヲ成

ニ漁場ニ付不相成

鯛場所他ヨリ夫共申合

若干ヘ立漁入手操網

其業盜ヲ盜漁ヲ取締者

田野所若干ヘ立漁入手操網者ヲ

或ハ野山ノ穀麥山林ノ竹木ヲ盜

柴草

○凡田野穀麥菜巣ノ看守スル人器物ヲ盜ム者ハ並ニ贓ニ準シ

科ノ何ノ罪ト同様

科ニ準ジテ論ス

科ニ準ジテ論ス

科ニ準ジテ論ス

七伺○

ム者ノ御指令ニ、自今官林ニ於テ盜伐スル

ニ係レバ、賍ニ計ヘ、竊盜ニ準ジテ論ジ、一等加フルコトニ

ア其所犯レ官林ヲ伐ル者ハ、其犯ス者ハ、仍ホ官林ニ

知テ盜ル儀ニ知ラザル者ハ、準官林ニ断ス儀ノトス

ヲ儀ニ知ラザル者ハ、準官林ニ断ス儀ノトス

凡盜ヲ存候ヘニ、官林ニ係レバ、依リ、

御指揮、疑ヲ生レ候ニ

為念相伺候、

七年十月十三日指令

若ノ松縣伺

官林ヲ擅ニ取去ル者、其情田野木

穀麥ヲ盜ル以テ論スル

酷ハ、過ル重ニ似タリ、依テ

雜犯律違式雜木ハ追徵シ、贖ノ

聽レ取去ル

可然哉、

他人官林ニ於テ盜伐スル

七伺○

官物ハ一等ヲ加フ、

國幣中小社境内樹木

處斷伐ス

共ニ有之、若シ可然哉、盜園陵内相心得ニ依リ、

難キ乎、尋常一様ニ草木成レ條ヘリ

盜年六月四日論ジ、指令一等ヲ加フ、

七竊

○ヲ本律ニ加フ、

青森縣伺

區長戸長、其區内ノ官林ニ准ジ

年六月八日指令

伐致候者、監守盜ノ

依リ、竊盜ニ准ジ、一等

雇筑摩縣伺

人家長ニ出テ、中途ニ於テ烈風降雪ニ際シ、

筑摩縣伺

親屬相盜

親屬相盜ハ、把數ヲ計ヘズ、日限ヲ破廉恥ニ

木タルヲ知ラズ、偶マ其枝葉ヲ取去ル者、前同樣ニ

可然哉、

七年十二月三日指令第一二條伺ノ通、

○愛知縣伺

農事助力等ノ為メ、親屬相雇フノ後、雇人、家長ノ財物ヲ盜ム者アリ、其罪、雇人盜ヲ以テ之ニ准ジ、家長財物ノ律ヲ以テ可ナラン乎、將タ擬シテ可ナラン哉、

擬シテ可ナラン哉、

七年二月十四日指令

親屬相盜ヲ以テ論ス可シ、

親屬相盜

凡各居同居ノ家ニテハ、此條ハ、身内同志互ニ盜ムヲ云フ。銘々ノ家ニテハ、互相盜ムヲ云フ。盜ハ、財物ヲ相盜ム

五等ノ親。

八盜罪ハ贖ヲ聽サズ、

年二月二十四日指令

其事狀已ニ聽贖ス可然哉、

准盜ス、原諒ス利ベキ係ル之ニ

其的ヲ家ニ歸ス、空手ニ違フ

行ヲ恐ル、山林ニ入リ、伐ル

能ハ家長ニ心ヲ

○名東縣伺　親属盗、財ヲ得サルモノハ、懲役四十日ヨリ、各等親ニハ、減等處斷可レ然哉、

七年十月五日指令

○伺　白川縣伺　各居二等親以下、相盗ム再犯ノ所御指令者ハ、前條ニ係ル者ハ、援引シ、後犯裁再犯ノ本罪ニ、一等ヲ加フベシ、雖モ、其三犯以上ノ例無之、

七年十月七日指令

親属相盗、及ビ子弟私擅用財伺

例再三犯ニ無之儀ト奉存候、右相ノ通、幼、尊長ノ家ノ財物ヲ用フル者ハ、各居二等ニ加ハ、尊長ニ由ラスシテ、私擅卑幼ノ財物ヲ盗ム者ハ、同居ノ卑幼ト雖モ、親以下、相盗ム再犯之、如何處分可レ致哉、

誤ニ出ル（仕出ス）ト雖モ。

各殺傷尊長卑幼ノ本律ニ依リ。（ソレ鬬毆律ノ掟ニ引付クルナリ。）重キニ従テ論ス。

若シ同居ノ卑幼。他人ヲ將キテ。（連レ來リシ）已ノ家ノ財物ヲ盜ム者。卑幼ハ。私擅用財物ノ律ニ依テ論シ。二等ヲ加フ。

罪。杖一百ニ止ル。他人ハ。凡ソ盜罪ニ。一等ヲ減ス。若シ殺傷スルヿアル者ハ各殺傷

八、再犯以上ニ係ルト雖モ加シ等スルノ限ニアラス、但レ十等ノ葉裁判所伺ノ指令ハ、誤寫ノ通、心得可レ付改正ス、本文ノ通、心得可レシ

○青森縣伺　各居ニ係ル兄ノ宅ヘ忍入リ窃盗シ、品物典賣ノ末、兄ナル者、其事覺察致シ、典賣先ヘヨリ受戻シ、事濟ニ相成ヒ、其事他ヨリ差顯レ、取糾シ候段ニ至リ、前件申出候所、其事ヲ受レ、右ハ犯罪自首條ニ依リ、其罪ヲ免レ候哉、又ハ兄弟ノ間、事濟タル上ハ其罪ヲ論セス可レ然哉、

七年十月九日指令

○親属相為容隠律ニ依リ論スル勿レ、

島根縣伺　當縣下出雲國仁多郡下阿井村農千原佐一郎ナル者、

甫十六年ニシテ、父元助ハ昨ニ離レ、家事治ノ難キヲ、農ヲ以テ沼ヲ開ク、六年ニ竹木ヲ伐リ、中郎同郡吉田村ニ入リ、永禄年間ニ、亀ノ甲ヲ以テ、太郎ハ、継母ニ相キ、其一方ニ依リ、其餘金ハ

第一條　各居ノ親屬ハ、伺ノ通、

○第二條　同縣伺ノ通、

親屬相盜ハ、雖常強竊盜ニ同然、但犯竊盜ハ、各寄親係ニ致シ者ハ、仍ホ以上ノ法ニ用ヒ、仍リ逃犯ニ至レル、凡減ニ裁ク、再犯ハ、加ヘ寄致シ可然裁、

○八年婦女ハ破廉恥甚ハ、決致シ可然裁、

○書第三條　各ノ親族ハ、伺ノ通、

論第二條　同下ノ盜ハ、分チ同ク五十圓以上ハ、罪ヲ定メ可然裁、

賊盜律　第三條　再犯ハ、準盜真盜ヲ別ナク論シ、士族ハ、二年三月二十日指令ヲ以テ論ス。

人強盜（並ノ押取リ）ヲ以テ論ス。

○京都裁判所伺

外孫ヨリ外祖父母ヨリ外祖父母ヨリ外祖父母

第七拾七号

改定例中ニ借屋物住例ノ奔ヒ雇人盗家長財物律別左通改正候條心得

布告

慶應元年九月十九日

改定雇人盗家長財物

凡雇人盗家長財物ヲ盗者ハ罪盗ヲ以テ論シ一等ヲ加ヘ管守者ハ又一等ヲ加ヘ無赦終身流

ヲ可レ、然ルヲ自ラ盗ム、其罪輕カラズ、畢竟受寄財産律ト、一概ノ論ニ非ス、〇京都裁判所家令番頭及届済以上ノ雇人、家長ノ財物ヲ盗ム者ノ伺

七年二月五日指令

家令扶持番頭手代ノ類ハ、同居各居ニ不拘、其他ノ雇人僕婢届以上ノ者ハ、弟百四十三條ノ律例ニ依ルヲ可レ、但布達前後ノ別ナク、届ケ未済ノ者ハ、凡盗ヲ以テ論スベシ、

〇兵庫裁判所伺

貴用受寄財産ト、本條中一時ノ寄托ヲ受クルト、刑名聚隔ノ寄托ヲ受クルト、其跡相近シト雖モ、其雇工錢ヲ受ルト到底其雇工錢ヲ受ルト、不受ト以テ、標準トナレ、區處可レ致候哉、

七年四月二十五日指令

雇錢ヲ受クズト雖モ、一時他ヲ及ヒ工人、舟子、馬丁、車力等、一時雇ヲ受クル者ト雖モ、其寄託ノ類ヲ受ケテ預ルナリ、所ノ財物ヲ盗ムハ、並ニ管守者ト罪同、其場ノミノ依頼ノ管守スル者ヲ盗ム罪ト、亦同レナリ、

〇京都裁判所伺

雇主ノ籍ニ在ル時、其財物ヲ盗ミ、雇主ノ籍ヲ離ル、後、事発覺スト雖モ、仍ホ雇人盗ニ依テ断ズ可キ哉、雇人盗ヲ犯ス者、糺弾推問中、雇主ヨリ離籍願出候ハ、閉届可レ然哉、

例第百四十四條、脚夫馬丁車カ等ハ、雇人ニ非ス、昨年當省第百九十號布達ニ関渉セス、律例ノ通、處分スヘシ、

愛媛縣伺

○改正本律附例、凡旅店貸藏及ヒ雇工云々ハ、管守者ト雇犯律費用受寄財産ノ條、凡他人ヨリ財畜産ヲ寄托ヲ受ケ云々ハ、坐贓夫ト、雇工ニ同ク寄托ナリ、論シ、一等ヲ減ス、

七脚夫車丁等ハ、竊盜二等ヲ輕シ、重ク、凡人ナレハ五等ヲ輕ス、

年二月二日指令

如何、

世ノ荷物ヲ運送スル者ハ、素ヨリ人渡レ世ト荷物ヲ行路ノ旅人ヲ以テ、信任シテ取扱ハ、深切ニ

長ノ財物ヲ盜ム者ハ、常人ヲ以テ論（上番人ノ財ヲ盜ム者ノ罪ト同シ。管守者自ラ盜ム者ハ、監守科ニスルナリ。）盜ヲ以テ論ス。若シ管守者、私ニ自ラ借用シ、及ヒ人ニ轉借餽送スル者、罪亦同。（支配人、無沙汰ニ私用ニ借リ、他人ニ又貸シ、遣ヒ物等ニスレハ、監守自盜ト罪同ジ。）

第百四十四條　凡客塵倉

輕カラス、畢竟受寄財産律ト、概ノ論ニ非ス、京都裁判所家令番頭及届ケ出ル者ハ、其罪自ラ盜ム、

七家令扶持ニ従番頭手代ノ類ハ、同年二月五日指令

居各居ニ不拘、其他ノ雇人僕弟百四十三

居届以上ノ者ハ、

婢條ノ律例ニ依ル可シ、但布達未濟ノ者

前後ノ別ナク、届ケ出ル以テ論スヘシ、

○凡盜ハ、安庫裁判所伺

費用受寄財産ト、本條中一時他

時ノ寄托ヲ受ケルト、刑名懸隔スト雖モ、其跡相近シト、不到底其雇工錢ヲ受ケルト、区別シ、標準ナシ、

七雇錢ヲ受ケズト雖モ、一時他

年四月二十五日指令

處可致候哉、

戸及ヒ江人舟子脚夫馬丁車力等一時雇ヲ受クル者ト雖モ其寄託（ヲ受ケテ預スル所ノ財物ヲ盜ム）ハ、並ニ管守者ト罪同。（其場ノミノ依賴ヲ受ケシ者トテモ雇人ノ管守スル者ヲ盜ム罪ト亦同セリ。）

○京都裁判所伺

雇主ノ籍ニ在ル時、其財物ヲ盜ミ、雇主ノ籍ヲ離ル、後、事発覺スト雖モ、仍ホ可キ哉、雇人盜ヲ犯ス者、糺弾推問中、雇主ヨリ離籍願出候ハ、聞届可然哉、

人ノ家ヲ監守スル者等、家主ノ財物ヲ盗ム者ハ、監守盗ヲ主

○以テ小倉縣伺ズ、

僕婢車馬駕籠罰則第一條

三則ニ、農工商、其職業ノ為メ、使用致候分ハ、男女共ノ使用無税ト有之、右無税ニテ雇主ノ財物ヲ窃取レタル男女、其雇ヲ主ニ係ル者ハ、矢張リ凡盗ヲ届物使共ノ條

七第

貴ノ輕キ贖ヲ聽スカ、又ハ呵式レ

一年九月十三日指令

二條戸籍届ベキ

ノ戸主、戸籍届不致廉ハ、違式レ

右無税ニテ使用ヲ

以テ論ル者ハ、可然裁、

十三條ハ盗ル財物ヲ雇人、其届未濟ニ、家長ニ係ル

無届ニテ拘ラズ、其無届ニノ有テ

○令滋賀縣伺ヲ、

二人申合セ、家長ノ財物ヲ盗ム、事發覺セ悔迫同死ヲ謀ハ、一人ハ阻救ザル者アリ、水ニ沒スル人ノ處、一人ハ已ニ死セ、未ダ死セザル人ニ、右ハ姦夫姦婦、同死ヲ商ナ者ト、其情自ラ異ナリ、故ニ各自死スル所ノ者ト見做レ、但ダ盗罪ヲ置ク

抱ヘ置ク雇主ハ、僕婢罰則

依ル可レ、

七誠懼

年十月二十七日指令

二名、深ク罪ヲ悔ヒ、法ヲ犯ル、ノ情切ナリト雖モ、婦

同死ヲ勸メ、勸メル者ハ却テ輕キハ、不應為

科レ、同死ノ廉ハ、不問ニ置

可然裁、但本文、人ニ

一人死ザルトキ、勸メル者ハ、為

○盗段更メハ、監守盗ヲ以テ論ズ、此

新渦ニ、及御守盗達候也、

雇人、其瀉伺主雇ノ為ヲメ、人ノ品ニ雇主ノ為ニ右預リ、金ヲ出ヲ主ノ品先リノ物金品ヲ於錢、及買遊ヒ入蕩物ノ

○伺七

山口縣伺ノ寄戸籍届ル未濟ノ財物ヲ雇人盗

年十月十日指令

候ニ地方ニ依リ、逃走ス、面目ス、錢ナ品ベルレ物ニ者ト、其費ヲ、用ヲ本ニ他ニ、

七

戸主ノ者ハ、昨年十月二日伺ノ戸籍届ル未濟ノ者ハ、百四十八日指令

雇人盗家長財物

七十二

○段盗達候ヲ以テ論ズ、此

編入時雇入レ

物ヲ盗ム者ハ、監守盗ヲ主

一心得ル、可然裁、

二條月三日指令

例ニ、素ヲ以テ、仍ホ律例ノ涉通セザル相

百四十四條云々、是等

盗ノ、其戸籍ニ寄託ノ依ル、財ニ斷ル

○第七

四條明文ニ、例ニ伺ノ通、

三條二條ハ、例ニ伺ノ指令

七年達書五月ニ、三ノ十通、一日ニ、百ノ四通、十日ニ、四ノ凡盗ノ犯人ニ附ス、賀縣ニ

昨年六月ニ、二ノ月ニ、四日ニ、人ノ人ニ伺ヲ、戸縣ニ

第

該届ベ、届ケズ、届ハ、未ダ濟ト、及ノ僕婢ニ雇人ニ、令ヲ、人ニ、若レ人ニ、レヲ家ニ以テ、戸籍ニ

家長ノ寄託ス、律ニ、ル依リ、ル所ノ處ノ財物ヲ、其盗

家長ノ財物ヲ盗ム者ハ、監守盗ヲ主

女ノ癡情ヨリ、自首スルヲ知ラズ、死レテ罪ヲ贖ハスレトスル者ハ、情狀懸隔ニテ、異ナリ、其人ニ阻ル者ハ、同物ヲ盜ムハ、並ニ管守者ト罪

○名東縣別紙罪案ノ通ニ付、逃亡探索方ト申ス、偽奕徒ヲ内ニ民部省ヘ、記レ事ニ

○右ハ、詐稱官ノ目難當相考候、金錢貪取候ヲ、提燈ノ記ヲ用居候ヲ、偽字ヲ用居候ヲ、

救ヒ、自首スル者ハ、死罪ヲ免レ、其罪犯ニ比シ、擬レテ、其罪ニ就テ、再ビ、擬定シ、可レ供ヲ、以テ、依テ、

但書本文ニ、

雖モ、其寄托スル所ノ財物ヲ、

○京都裁判所、雇主ノ寄托セレ者金費用ヲ、追テ辨償セレ者ノ、雇主ノ委任ヲ預ヲリ、置キ、毎月兩ハ、証書ヲ入レ、端金ハ、指令ヲ受ケ、二日ノ内ニ、算入シ、納ハ、問ハズ、推限ヲ、度ニ、出納ノ費用ヲ、預ケ、引ケ、差ヲ、以テ、主ヲ、雇ヲ、限リ、七年十一月ノ伺ヲ、

恐喝取レ財ノ

此條ハ、人ノ物ヲ、オドシテ取ルヲ云フ。

親屬相盜律ニ見合ハスベシ。

付、詐稱官ノ目難當相考候、因テ恐喝取財ト見做シ、一重キ逃亡律ニ依リ、杖八十ニ可申付、裁、

六年七月二十三日指令

本條恐喝シテ人ノ財物ヲ取者、窃盜ニ準シテ論ス、一等ヲ加フ、

○筑摩縣伺

凡リ竊盜財ヲ得ザル者ハ、律ニ依リ、懲役四十日ニ科ス、

騙ス等ノ如キ、準盜或ハ準騙ト雖モ、若シ恐喝詐賺局ニ科シテ、加等ノ例アルモ、仍ホ一般ノ律ニ從ヒ、處

懲役七十日〔贓金一圓餘〕

救産場ヲ脱逃スル者ハ、素ヨリ無罪ノ故ニ、輕ク論セズ、

七年四月二十三日指令

財ヲ得ザル者ハ、懲役四十日ノ律ニ從ヒ、處斷可然、

凡恐喝シテ人ノ財物ヲ取ル者ハ、贓ニ計ヘ、竊盜ニ準シテ論シ、一等ヲ加フ、罪流三等ニ止ル、若シ二等親以下、自ラ相恐喝スル者、〔尊長ニテモ卑幼ニテモ、オドシカクル者、卑幼尊長ヲ犯スハ、凡人ヲ以テ論シ、尊長卑幼ヲ犯スハ、親屬相盜律ニ依リ、〔五等親ニテ、凡人ヨリハ、一等下リナレバ、四等親ナリ、二等下リナリ、〕遞減シテ、罪ヲ科ス、

準盗トイヘ共、恐喝取財ノ如キ加等スル者ハ、財ヲ得スト雖モ、一等ヲ加ヘ、懲役五十日、加等セサル者ハ同ノ通、

○新潟縣伺、

凡ソ恐喝取財、枉法ノ罪ハ、窃盜ヨリ重シ、而ルニ盜賊ノ贓ヲ主條トシテ受ル者ハ、贓ノ計ヘ論シ、竊盜ト為シ、従テ恐喝枉法ノ者等ハ、坐贓ニ準シ、知ラサル同條ノ例ニ以テ論スルト之ヲ受ル罪ハ重キニ、輕キハ、重ク論スヘキ贓物ヲ受ル罪ハ輕キニ、重ク論スヘキ贓物ヲ受ル罪ハ重キニ、輕キハ

○以前七

ニハ脚夫帯ニ無之候ヘハ雇人又ハ雇人盗ミ家財物ノ條ニ照シ依リ
難キ半年ハ拐帯ヲ以テ論ス若シ財産ノ心底ニ照シ可キ裁受寄
ヤ苦シ質入ノ條タニ照シ費用償還寄
ヲ二月十四日指令

下ハ伺ノ通

白川縣伺ノ通

從來抓梓巫市子并憑祈禱狐寄惑寄

下ハ抓梓ト相唱ヘ玉占ロ脳惑禁相付

止セノ所業ヲ以テ人民切ヲ被相

立ル事ハ二年ニ達シ一方ニ月ニ教部省ニ

止ル候ハ二年ニ達シ一方ニ月ニ教部省ニ

甘ク候ハ二年ニ達シ一方ニ月ニ教部省ニ

明治六年布達ノ一方ニ月ニ教部省ニ

治ノ御布達ノ一方ニ月ニ教部省ニ

於テ各地ニ通ハ教部省ニ

條ノ儀ニ通ハ教部省ニ

明號ニ通ハ教部省ニ

犯致ニ通ハ教部省ニ

失受ス

ル者ノ遠恐アル者

ル者ノ遠恐アル者

ル者ノ遠恐アル者

第七

レ、竊盜ニ準シテ論シ、士族然ハ破廉恥甚ヲ以テ論決可シ、舊神官及ヒ日蓮宗僧徒如キ頑愚ノ小民等、病苦祈禱ノ故ヲ倚ヲ以テ疾病ニ退除ノ死靈抑ト或ハ邪神ノ祟カリ誑ヲ謂ヒ、財ヲ貪ルテ巧言弊ニ往ヲ付ス是亦不ル相ノ濟事ニ重キ輕ノ所為ニ應ル者ハ、仍ホ謝金ニ贓區處ニ計シ、若シ重キ受ル者ハ、准シ破廉恥甚ト云ヲ照シ、竊盜以テ論ス可然哉、

第二條　謝金現在可請求ニ祈禱等浮言以テ惑ヒ人ヲ財ヲ貪ル者ハ、地方官告ル者ハ、身ノ業ニ就カ泥ミ、紛ル者ハ、同ノ通不應為輕ニ科シ、士族ハ、僧侶婦女ヲ分チ、律ノ通區ニ處シ、謝金現在スレハ、追ヒ一年六月二十四日指令ニ科シ、主ニ給スヘシ、

○青森縣伺

盜賊典賣ノ牙保ヲナシ、典賣ハ金ノ内ヨリ、譬ハヲ十圓ヲ三圓五十錢ト偽リ、二圓或ハ一圓五十錢ヲ以テ、盜賊ヲ知ラスシテ、詐取スル者、詐欺取財ヲ論シ、處斷致シ可然哉、

七年十月十九日指令

○長野縣伺

本條ニ若シ監臨主守監守者ハ、財物ヲ詐取スル者ハ、

贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シテ論ス。罪。流三等ニ止ル。親屬ナラハ。亦親屬相盜律ニ依リ減シテ。罪ヲ科ス。

○滋賀縣伺

一寺住職ノ僧侶數人申合、金ヲ借リ受ケ、信州善光寺本佛ノ古民所持ノ農ニ出シ、尊ト偽リ所々ニテ開帳シ、人ヲ欺キ賽錢ヲ貪ル者ニ及ヒ、其賍金殆ント千圓ヲ以テ論ス、右ハ詐欺取財ニ準シ可然哉、

○

贓ヲ取リ、游手糊口スル者ハ、地方官告ル者ハ、身ノ業ニ就カ泥ミ、紛ル者ハ、同ノ通不應為輕ニ科シ、士族ハ、僧侶婦女ヲ分チ、律ノ通區ニ處シ、謝金現在スレハ、追ヒ一年六月二十四日指令ニ科シ、主ニ給スヘシ、

○青森縣伺

盜賊典賣ノ牙保ヲナシ、典賣ハ金ノ内ヨリ、譬ハヲ十圓ヲ三圓五十錢ト偽リ、二圓或ハ一圓五十錢ヲ以テ、盜賊ヲ知ラスシテ、詐取スル者、詐欺取財ヲ論シ、處斷致シ可然哉、

七年十月十九日指令

○長野縣伺

本條ニ若シ監臨主守監守者ハ、財物ヲ詐取スル者ハ、

已ノ信尊ス人ヲ欺キ財ヲ貪ル者ニ依リ、破廉恥甚ヲ以テ論シ、奪職ノ上、本罪實斷ニ論シ、可然哉、

七年二月二十二日指令

○

但書伺ノ通、

新潟縣伺

官私ヲ詐欺シテ、財物ヲ取ル者ハ、如何處斷ス、

不應為重ニ問ヒ、聞刑ニ處ス、

七年五月三十日指令

○

置賜縣伺

枉法ノ事ニ非スト雖モ甲官吏ノ受理請求ヲ、乙ニ依ル者ハ、竊盜ト同ク論ス、

財ヲ得サル者ハ、

七年十月十九日指令

監守自盗ヲ以テ論ス、未タ得サル者ハ、其詐取セント欲シ、罪ヲ科スヲ計ヘ、二等ヲ減ト

二百圓ヲ詐取セントシテ、未タ得サル者ハ、懲役十年ニ処セラルヽ可キ者ハ、懲役六十日ノ権

八本年四月十三日指令

衡如何可有之哉、

○長崎裁判所伺

暑賣身代金及ヒ牙保情ヲ

八本律ヲ謂フ、其項ハ賍數憑據アル者ハ、単行例ヲ依ル處分ス、

○行例ニ依リ、懲役六十日ヨリ、二等ヲ輕キヲ科ス、

減シテ但シ懲役本律ニ依リ、二等ヲ減ハ、単行例ニ依ル處分ス、

知テ受ル等ノ賍金ハ、取與俱ニ罪アル儀ニ付、追徴沒官致シ可ル然哉、但シ費用存シ候

八伺

○

八年一月九日指令

通、但書當省本年二十

号布達ノ通、心得ヘシ、

名東縣伺

甲某貧窶生活ノ資ナク、糊口ニ迫リ、服前ノ急ヲ救レ難ク、的律無之、因テ甲某ハ例第二

暑賣人

凡人ヲ

ハ、此條ハ、人ノ男女ヲ暑賣シ、又ハ出シテ人ヲ以テ論ス、暑賣ハ強盜ノ人ハ坐セス、

無承知ニ引ク連レ出ル賣ハ、暑賣ハ人ノ人ヲ殺傷スル者ハ、徒二年半因テ納ヲ得ル者ハ、引出サレタル者ハ、

暑賣人

○

暑賣人

七伺

京都裁判所伺

林竹木ヲ以テ加ヘ盜ノ致サ物ヲ治スヲ可キ者ハ、官物ヲ取ル者ハ、官物ヲ

百八十七條違制重ニ依リ問擬シ、懲役百日、乙其ハ違制輕懲役九十日、甲所得ノ身代金、及ヒ牙保乙受ル所ノ謝金ハ、并ニ贓金ト見做シ、追徴官没致ス。

丙某ノ賣女ヲ、一箇年或ハ三箇年季ヲ、五十圓百五十圓ニテ、甲某ト相對ノ上、召抱ヘ置キ、藝娼妓致サセ、偶自己ノ都合ニ依リ、丁某媒介ニテ、戊某ヘ一箇年三箇年ニテ和賣致シ、藝娼妓致サセ候者、丙戊ハ例第二百八十七條、違制重懲役百日、丁ハ違制輕懲役九十日、丙所得ノ身代金、丁受ル所ノ謝金モ、亦追徴官没致シ贓金ト見做シ、追徴官没致シ候哉、

明治五年壬申十月、藝娼妓解放ノ際、親屬ヘ還付スヘキ者ハ。科親屬ニ還付スヘキ者ハ。渡レ遣ハ。親屬和誘ス。ル者ハ。各一等ノ人ヲ減シ。其誘セラル、人ハ。各三等ヲ減ス。十歲以下ハ。和ト雖モ。承知シ出ハ。各三等ヲ以テ論ス。承知ノ上本人ヲ連レ出シ、其者ハ。又承知ハ承知ヌ其情ヲ知テ。買ヒ引出シ。其者ハ。科ナルト本人ヲ引

第六條 減ス、同ノ通、但纏頭金ハ追給スル

第三條 酌取女唱ヘ、料理店等ニ應シ、相雇居候者、客ノ挑物品等ニ、受用致候節、金錢ハ其金錢物品ヲ受ル者ニ、和淫致シ、又ハ淫ノ處ヲ女等ニ、請取ヲ以テ賣淫ノ處ヲ可及ニ、淫致候ハヽ、是ハ同様ニ接シ候ト、區別ス、

第四條 三潛縣伺ノ通、但前項甲丙實況ハ、口書ヲ決シ難キ情狀アラハ、伺ノ通、決シ難キ情狀ナキハ、

第五條 不問買ヲ減シ、買ヲ保ハ賣ル者ニ

第二條 微置ク前項ノ限リニ在ラス、但シ代金等ハ、追ヒ不問ニ、

第一條 借用シ、其拭當ノ為メ、女共、人身賣ヲ以テ娼妓ヲ、年季ヲ以テ娼妓ヲ、賣買スルハ、情狀異ル以テ、不問ニ、

第百四十六條 凡妻ヲ畧賣シテ。娼妓ト為ス者ハ。凡一人ヲ畧賣法ニ依ル。和賣スル者ハ。懲役七十日。

第百四十七條 凡子孫ヲ畧賣シテ。娼妓ト為ス者ハ。懲役五十日。妹姪。及ヒ外孫ハ。各二等ヲ加フ。

第百四十八條 凡人ヲ畧賣シテ。自己ノ妻妾雇人ト為ス者ハ。畧賣ト罪同シ。

第百四十九條 凡人ノ妻ヲ畧シテ。他人ノ妻妾ト為シ。及ヒ自己ノ妻妾ト

○ 八價ル者ハ不問ニ、

○ 等ヲ減ス、

第六條 等ヲ減ス、

○ 三潛縣伺ノ通、但纏頭金ハ追給スル

第三條 酌取女唱ヘ、料理店等ニ應シ、相雇居候者、客ノ挑物品等ニ、受用致候節、金錢ハ其金錢物品ヲ受ル者ニ、和淫致シ、又ハ淫ノ處ヲ女等ニ、請取ヲ以テ賣淫ノ處ヲ可及ニ、淫致候ハヽ、是ハ同様ニ接シ候ト、區別ス、

第四條 等ヲ減ス、

第五條 等ヲ減シ、買ヲ保ハ賣ル者ニ

第二條 微置ク前項ノ限リニ在ラス、但シ代金等ハ、追ヒ不問ニ、

第一條 借用シ、其拭當ノ為メ、女共、人身賣ヲ以テ娼妓ヲ、年季ヲ以テ娼妓ヲ、賣買スルハ、情狀異ル以テ、不問ニ、

第百四十六條 凡妻ヲ畧賣シテ。娼妓ト為ス者ハ。凡一人ヲ畧賣法ニ依ル。和賣スル者ハ。懲役七十日。

第百四十七條 凡子孫ヲ畧賣シテ。娼妓ト為ス者ハ。懲役五十日。妹姪。及ヒ外孫ハ。各二等ヲ加フ。

第百四十八條 凡人ヲ畧賣シテ。自己ノ妻妾雇人ト為ス者ハ。畧賣ト罪同シ。

第百四十九條 凡人ノ妻ヲ畧シテ。他人ノ妻妾ト為シ。及ヒ自己ノ妻妾ト

本律和誘ト、和同相誘モ情ノ願ノ無キニ出テ、即チ彼是互ニ誘ヒ、其言ヲ聽キ、他郷ニ往テ、里長ニ従ヒ、遁テ、竄ル潛匿シ、其ノ骨肉ヲ忘レ、甘ンジテ、騙ル逃ヘ、意ノ威劫ニ情ノ狀ニ商ル、令ノ拐ヲ者ア、リ、ノ、ル、ニ、ト、ニ、ノ、

家ヲ成シ、家ヲ入レ、逃レ、走リ、出テ、捕ヘ、獲テ、公ニ、私ニ、就キ、各男女ノ、其ノ誘ヲ、情ヲ、

第百五十條　凡人ヲ略シテ。外國人ニ賣ル者ハ。成役終身。殺ス者ハ。皆斬。其和誘スル者ハ。一等ヲ減シ。誘セラルヽ人ハ。三等ヲ減ス。若シ子孫ヲ略シテ。外國人ニ賣ル者ハ。懲役一年。和賣スル者ハ。一等ヲ減ス。和略。和賣ハ。上ノ同心シテ賣リ。賣ラルヽ者ハ。略賣ニ。同ジ。上ノ略賣モ。本人同心セヌニ。引出シテ賣ルヿナリ。未ダ成ラサル者ハ。懲役五年。人ノ妾ヲ略シテ。妻妾ト為ス者ハ。懲役三年。和誘スル者ハ。各一等ヲ減シ。誘セラルヽ婦女ハ。各三等ヲ減ス。

第百五十條　凡人ヲ略シテ。外國人ニ賣ル者ハ。成否（賣リ渡シタルト。マダ賣リ渡サヌトナリ。）ヲ論セス。皆懲役十年。因テ人ヲ傷スル者ハ。皆懲

出ル、ヲ以テ主トナシ、皆和誘ニ然ル、ニ、ハ、無ク、夫ナ、レ、ハ、私ニ、出ル、ヲ以テ論シ、檀ニ、有テ、他ニ、区別管ナ、夫ニ、依ル、婦ア、ト、ニ、ハ、無キ、夫ニ、和ス、ル、者ハ、懲役三年。誘ヒ、セラ、レ、ル、百四十九條ニ、ト、ア、リ、ル、弟ヲ減ス。女ハ、三等ヲ減ス。又滋賀縣伺御指令ニ、ハ、無キ、夫ニ、和誘ヒ、出ス、者ハ、懲役一年。姦婦ニ、姦ノ、後ニ、逃亡シ、或ハ、他ノ、夫ニ、和姦ノ、後ニ、和誘ヒ、私

テ詐騙ノ意アリ、其骨肉ヲ不省、他所ニ潛匿シ、公私就ケモノ尋ヲ受ケ、終ニ捕縛ニ處スモノ無夫ト許サヌ風ヲ助ケ、婚姻ノ時ハ、父母ノ許サレタル者ノ如シ、各充當ヲ得サメ、其他管轄出シテ、不圖馴染ノ者之ト涙ヲ流シ、夫婦ノ契約ヲナス者、然ストカラス、誘逃亡ヘスト雖モ、和姦ノ後、和誘ノ云ヘ者ニ依リ、處斷スヘキ者ニハ有之間敷哉、

○八秋得誘同

田年一月十七日指令ノ通心

滋賀縣ヘ指令ノ通心

可レ例第百四十八條ノ通心

事ヲ謂フ、兩縣ヘ指令ノ通心

歌山縣同

牙有スル非ス、

他人妻ト和姦ノ者ハ、和姦ノ罪ニ。又一等ヲ減ス。賣ラルヽ卑幼ハ。和ストヽ雖モ坐セス。若シ外國人ヲ買フ者ハ。前ニ照シテ各一等ヲ減ス。（同科ヲシ）

○東京裁判所伺

昨年秋田縣ヨリ和姦ノ犯ヲ減ズ。（一段）

七年秋田縣ヨリ和誘ノ犯ヲ減ズ。

末、逃亡ノ者處斷ヲ伺ヒ、和誘ノ者、無夫ナレ、逃亡ノ者ハ、逃亡條例他管轄出シ、逃亡律ハ、逃亡者ノ處分ヲ照シ、各有夫ナレ依リ、懲役三年云々、若シ通姦セサル者ハ、婦女ハ收贖ヲ聽スト雖モ、姦事ニ因テ鬪毆ヲ生シ、又ハ共ニ逃走ノ末、捕獲ニ就キ、獄庭ニ於テ姦情ヲ吐露スト雖モ、本夫ヨリ告訴スルニ非レハ、姦罪ハ問ハスト雖モ、之ヲ右ハ共ニ逃走スル者、姦罪ハ問ハサルモ、前文秋田縣伺指令ニ依レハ、和誘ノ罪ハ坐レ候儀ト相心得可然哉、

八年三月八日指令

自己ノ妻妾トナス者ハ、伺ノ通、

○福岡縣參事水野千波、管下衆民蜂起進退伺ノ擬律

六年九月十七日指令ノ本條凡他方官督撫ニ失レ云々、懲役百日、士族贖例ニ依、贖金七圓

○五十錢宛團水野千波尚靜

小田縣伺六年九月十九日

得可然哉

三月十二日指令

他人ノ妻妾ヲ和姦スル者ハ、本律和誘スル條為ス者ハ、本律ニ依ル、子孫ハ、律例第百四十八條ノ罪ニ一等ヲ減ス、

七ニト依ル、

條ノ畧貴ノ罪ニ

光徒聚衆

光徒聚衆ヲ

此條ハ。惡徒申合セテ。一揆ヲ企ルヿヲ云フ。

凡光徒。衆ヲ聚メ。大勢徒黨ヲ結ブナ

指令舊為知事ノ出京ヲ抑留セシ官ニ強ンカ逼ルモ素ヨリ教唆ノ志累世ノ鴻恩ヲ忘ス

○

ルノ感戴ト雖モ愛惜ノ切迫ニ出ル焼亡スレハ人民ヲ殺傷シ若クハ人民ヲ劫奪シ造意ハ斬死スル者ハ流三等従ノ手下シ

ハ其情狀ニテ別ニ村市ノ毀壊ヲ以テ原諒ス可キ頑民ヲ煽動シ賊盜ヲ助ケ人ヲ殺シ火ヲ放ツ者ハ絞其上

処ハ其執拗ニ抑留シ良民ヲ擾害シ官長ヲ挾制シ支配及ヒ

因テ勢ヲ助クルノ者ハ其誘レ場ニテ同行シ勢ヲ加ヘ

ハ其身ヲ拘束シ手ヲ掛ケテ人ヲ射発シ頭ヲ砕キ者自人ヲ

固ク助ケ衆ヲ聚メ徒ヲ構ヘ官ニ強訴シ或ハ自ヲ以テ

執拗ニ阻止シ良民ヲ扇動シ徒ヲ率ヒ凡テ衆人ヲ脅ス

ノ原因ハ悪徒ヲ誘ヒ人ヲ殺傷シ財物ヲ奪ヒ或ハ市村ヲ焼拂フ者ハ財物ヲ

訴ヘ出ル者ハ其情狀ニ依テ尚ホ重ク論シ可キ事ナリ

人ヲ殺傷シ或ハ市村ヲ焼亡スル者ハ三人以上聚村市ヲ毀壊

人ヲ殺傷シ或ハ市村ヲ焼亡スル者ハ三人以上聚村市ヲ毀壊

若シ地方ノ凶荒ニ乗シ年凶

七兇勢置罪設贖亦贖罪金可申付ノ処士族ハ破廉恥甚ヲ以テ平民ハ贖

年一月八日指令ハ如何哉

徒ヲ助ル者ハ綱領之令ニ勿論ト雖モ

ヲ誘ヒ聽ニ非ス是ヲ違ヒ令ニ在テハ

ヲ番糾ス不得止一實文本犯罪モ

ヲ各條皆同モ亦贖罪ノ為ニ

ヲ狀ハ各者士族平民犯ノ者

ヲ情狀ハ聽ス依ルス且士族平民ノ

ヲ如何ニ聽ニス非ス

ヲ例ニ聽ニス

ヲ條例改テ違令之ニ

ヲ例ニ聽ニス

ヲ例ニ聽ニス

ヲ此罪ニ

ヲ處ル

ヲ如何ニ

ヲ恥辱ヲ以テ

ヲ恥辱無キ者ハ

ヲ恥辱無キ者ハ

ヲ恥辱無キ者ハ

○大分縣ヘ達書七年五月十七日

其縣黨民暴動ノ節、當省官員出張及處斷ノ候賈屬士族元卒并一寺住職者ハ以テ附和隨行ノ破廉恥者ハ甚ダ不穩ノ儀ニ付テ除族遷俗申付候ハ誤刑ニ論シ候條

立ツヌヤ

者ハ並ニ首ハ絞ニ從流三等其餘ノ附隨ハ亦論スルヿ勿レ

兇徒聚衆條例

第百五十一條

凡兇徒聚衆ノ從（發頭人ニシテ從者ニシテ）情（其惡事ノ輕キ者ハ）懲役三年

第百五十二條

凡附和隨行（從ト首ノ發起人ト同意セシモノニテ附和隨行ナ者ハ）其場ニテ行ク者ハ

族卒ハ輒ニ問ヒ各三十日贖ヲ以テ聽スヘキ所ノ除族スルヲ以テ更ニ贖金ヲ徵セス士族當主ハ復族祿ヲ復シ元卒當主ハ復族祿ヲ復シ二三男ハ復族籍ス

戶長タルヲ以テ違令重ニ問ヒ贖ヲ聽スヘキ處除族ニ論シ決ヒ後告上詐不以實懲役八十日ノ罪發スルヲ以テ前罪ヲ通計シ後數ニ充テ四十日ニ通計シ八十日ニ小澤德五郎ハ違令輕罪ヲ通計シ三十日後罪ヲ問ヒ八日贖罪セシムヘキ處ヲ除族スルヲ以テ更ニ贖金ヲ徵セス當主ハ族祿ヲ復シ二三男ハ復族ス

元卒梶原兵治

士族副戶長渡邊直彥

同保長小澤德五郎

一寺住職ニ還俗スル者ハ更ニ贖金ヲ徵セス寺職ヲ經テ

シテ火ヲ放ツ者ハ從ニシテ火ヲ放ツ者ニ二等ヲ減シ懲役十年其脅誘セラレテ火ヲ放ツ者ハ懲役三年其餘牆屋（塀ヤ居ヲ）毀ツ者ハ不應為重ニ問フ（條理ニ於テ可カラザルヿナリ）為ス罪重キ方ニ當テ擬ク其止タ場ニ在テ勢ヲ助クル者（徒兇ノ加勢者）ハ勿論ノ律（綱領論）勿レト（アルヿ）ヲ改

律文ヲ受テ云フ

退隱スル者ニ引直ス、

外親二人光

從來卒身分改定ノ儀ハ、明治五年第廿九號ノ御布告ニ付ス際、未タリ之ト雖モ、該犯非處ノ斷卒ノ布ヲ除ク之ノ改定ニ籍ル依テ、令一時舊籍ニ施行セス、既ニ復セレ

基ムキ、士族ト平民ヲ區別改定ノ事務ハ、當省ニ預ラサル名東縣ヘ以テ、更ニ七月十日達書、別紙擬律ノ通改正相成候、此段及御達候也、

條達方御取計可有之候、

○光共除

徒殿ス附和隨行シテ、遷卒ヲ問ヒ、輕重ヲ分ツ

令ノ族殿ス者不應為重ニ犯者ハ、懲役十年ニ從ハ、

輕ニル改正シ、雜犯律ニ違キ

問者ヒ、贖ヲ聽ス

第百五十四條　凡地方官

第百五十三條　凡衆ヲ聚メ違令ニ問ヒ輕重ヲ分チ贖罪スルヲ聽ス（違律ニ令見合セ科輕キトスルナリ。重キヲ定メ贖ハス。）

強逼（強情ニ申立ルスト雖モ良民ヲ擾害スルニ至ラサル者。）首ハ懲役十年。從ハ一等ヲ減ス。從ニシテ情輕キ者ハ二等ヲ減ス。

訟ヲ構ヘ（拵ル）事コヲ官ニ

九年四月十四日第四十八号御布告ヲ以テ第百五十四條例廢止

處、隨行中、人ノ邏卒ヲ共殿ス

ル、ニ衆ニ同ク殿ソト雖モ、拒ル者ニ非ルヲ以テ、人ヲ擬シ、

捕レテ殿ツ者ニ懲役三十日、邏卒ヲ殿ス者ニ付、凡闘殿ニ二等ヲ加ヘ、二罪ニ

俱發、一ノ重キ禁錮五十日ニ付テハ、以テ處ヘキ處、除族スルヲ以テ、

更ニ禁錮ニ處セス、復族ス、（田中多作）

岩田傳九郎

○埼玉裁判伺

武藏國埼玉郡柴山村枝郷

同上、違令ノ輕ニ問ヒ、懲役三十日、贖ヲ聽ス、輕キ處、除族スルヲ以テ更ニ贖金ヲ徵セス、復族ス、

督撫ニ失シ、民衆ノ騷擾ヲ致シ、治メ方惡レキヲ下々ノ騷動オコル、及ヒ兇徒衆ヲ聚メテ潛匿（人知レヌ場所ニ隱レ居ル）スルヲ覺察セス。（心付カヌ）出ル者ハ他管（他ノ支配）ニ覺知（其事ヲ見出スナリ）セラルル者ハ懲役百日。輕キ（其事柄ノ別ノ事ニテハナキナリ。）者ハ懲役七十日。

夜無故入人家

農進藤平次郎儀、罪案之器ノ傷殺ト誤認シ、父ヲ毆傷ス、通盜犯ト付、例弟二百二十八條ニ依リ、懲役一年實斷ス、ハ、ヘ、キ、ニ、ヲ、ル、ス、ハ、ノ、ル、ル、ル

否（盗ミモノ場所ニテナリト。）贓ヲ得ルト否（物品ヲ）賊（ナリ）

盗ミ得タル物ハ空手ナリトモ。又捕ヘテ殺テ。

問ハス。懲役二年。（打）拘獲ニ

科セラレ者ノ其已ニ

就ク（掛ケル）縄ニ復タ

疊（打ツ）毆ナミ（リケ）レ。若ク殺傷ス事

後毆打シテ。擅ニ

ル。一等ヲ減ス。若シ盗犯ニ

者。折傷上ハ。鬪毆傷

兇器ヲ持シ。拒捕ス

○石川縣情ヲ知テ盗贓ヲ受ルル三犯ニ及ヒシ伺

七年二月十二日指令

強竊盗ノ贓タルヲ知テ、受ク

ル者ハ、再犯以上ハ一等ヲ

加ヘ、罪懲役七年ニ止ム可シ

○若松縣伺

盗贓タル知ラス、典賣ノ

牙保ナスモノ、其贓ヲ追徴

レスルニ、盗犯資力アル者ナ

ハ、盗犯ヨリ價ヲ追徴シ、

典鋪ニ給シ、牙保ヨリハ徴

セスシテ可然哉、

盗犯タル知ラスシテ、典

賣ノ牙保ヲナシ、其品物半

ハ典鋪、若クハ買者ノ手ニ

ル。

格鬪ヒナリ。向ヒスルナリ。刀物ヲ持テ手カミア即時殺死スル

者ハ。罪人拒捕律ニ依ル。

盗賊窩主

此條ハ。兇ル者ノ宿ヲ云フ。

スル者ノ窩主。造意スルハ。

凡強盗ノ窩主ハ同ク行ハスト雖モ。但タ身

賊ヲ分ツ者ハ。行フ者ト罪同。強盗ノ宿ヲスル者。強盗ノ言ヒカケテ其泊ヲ遣リテ。強盗ノ者ハ。盗ミ得タル財物ノ。分配ヲ受ミトモ。強盗ヲサセ自分ハ。盗ミニ出ズ者ヨリ。盗賊窩主

七第第　○

一一年五月三十日指令

一條　伺在ノ通、賊ハ、律例ニ所現追徴レ追徴ラレ知ラレ追徴スルル者ハ、費用ト但着ス、

存在レ、半ハ轉々賊ノアル所ニ追徴ラレ知ラス、若クハ衣類等ヨリ追徴ラレ着古ス者、皆牙保ヨリ追徴可レ然哉、

滋賀縣伺

古ナレレ衣類ハ追給ス、

本年石川縣御指令

盗者ハ、罪、懲役七年ニ止ム可レ加ル者ハ、再犯ノ儀ハ、以上一等ヲ加ル

賍物ヲ知テ受ル者ハ、強竊ノ罪同。（宿主。盗モミ発起ノ相談ハアレトモ共ニ出セカヌケテ。強盗ヲズナシテ。共配ニ出ヲ謀リシ宿主ハ。盗ミ出ズ共謀ニモ。分配ヲ受ケタレニハ。盗ミ出シ者ト。科同ジ。若シ行ハス。）

七年六月二十四日指令

伺

再犯ノ以上ハ、本罪ニ一等ツヽ、

福岡縣伺

兄弟同居ノ子弟一己ノ意ヲ以、他ニ嫌ヲ盗ミ携帰ル賍物ヲ、其父情ヲ知テ販賣シ代価ハ父子倶ニ費用ナス、父本條盗賍ノ牙保ヲ典賣ノ者ニ知ラ、別ナレ、處断ヲ受ル者ハ、一等ツヽ、

可然哉、

金ヲ擬シ、

但本文ノ如キ所業、再犯三犯ニ係ルノ者ハ、一等ツヽ、若シ然ハ、罪、懲累加スヘキ者ハ、止ルヘ

七年十月十九日指令

伺

重キ裁、

重ク裁、

犯ノ罪重キ者ハ、通、但シ三犯ノ者ハ、重ニ従テ論ス、

名東縣伺

兄弟アリ、兄ナル者、五親以上ノ物品ヲ竊取シ、或ハ賣捌

其情ヲ知ラスシテ。盗人ト。知ラ。ハ。暫時（ザンジ）傍歇（ボウケツ）セシム。ル者ハ。坐セス。

若シ竊盗ノ窩主。造意スル。ハ。身同ク行ハスト雖モ。但。タ賊ヲ分ツ者ハ。首（造意ノ発起人）ト為シテ論ス。若シ行ハ。ナリ。ト為シテ論ス。（竊盗ヲ為サズ）又賊ヲ分タサル者ハ。従（隨従者）ト為テ論シ。臨時（リンジ）主意（盗ミ）リテ。盗ミノ時ニ當ミノ仕レバ。自身強盗セ者ト。科同ジ。若シ同ク行ハス。又賊ヲ分タサル者ハ。徒二年。其窩主。共ニ謀テ。造意セス。同ク行ヒテ。賊ヲ分タス。及ト同ク行ハスシテ。賊ヲ分ツ者ハ。行フ者ト又賊ヲ分タサル者ハ。杖八

○第七第

大坂裁判所、盜賊ヲ知ラス

二條准シ、從ヲ受ケル者ハ、依テ親属論ス、別ニ論ス、

百五十六條、盜賊ヲ為ス者ハ、親属相盜ノ例ニ準シ、從ト為シテ論ス、其盜ノ品ハ、別ニ其盜ヲ以テ首ト為ス、其窩主造意セス、同ク行ヒテ、賊ヲ分タス、及ト同ク行ハスシテ、賊ヲ分ツ者ハ、仍ホ從ト為シテ論ス、若シ行ハス、賊ヲ分タサル者ハ、笞三十、其強竊盜、及ト畧賣、和誘ノ賊、強盜竊盜ノ盜ミ物、及ビ人ヲ畧賣シ、又ハ承知ツ上ニテ代金ヲ受ル者ハ、各賊ニ計ヘ、竊盜ニ準シ、從ト為シテ論ス、其盜ノ品ハ、別ニ其盜ヲ以テ首ト為ス、其窩主造意セス、同ク行ヒテ、賊ヲ分タス、及ト同ク行ハスシテ、賊ヲ分ツ者ハ、仍ホ從ト為シテ論ス、若シ行ハス、賊ヲ分タサル者ハ、笞三十、其強竊盜、及ト畧賣、和誘ノ賊、強盜竊盜ノ盜ミ物、及ビ人ヲ畧賣シ、又ハ承知ツ上ニテ代金ヲ受ル者ハ、各賊ニ計ヘ、竊盜ニ準シ、從ト為シテ論ス、其盜ノ品ハ、別ニ其盜ヲ以テ首ト為ス、其窩主造意セス、同ク行ヒテ、賊ヲ分タス、及ト同ク行ハスシテ、賊ヲ分ツ者ハ、仍ホ從ト為シテ論ス、若シ行ハス、賊ヲ分タサル者ハ、笞三十、其強竊盜、及ト畧賣、和誘ノ賊、強盜竊盜ノ盜ミ物、及ビ人ヲ畧賣シ、又ハ承知ツ上ニテ代金ヲ受ル者ハ、各賊ニ計ヘ、竊

○七遠

京都式輕重ハ、阿波判官ニ問ヒ、十二月廿七日指令ス、

若シ、甲ヲ過ル者ハ、金ヲ貸シ、乙ヲ置ク者ハ、返濟期ヲ過ル甲ニ、督責ス、

○七例

大分縣伺、第百五十六條、盜賊ヲ知テ典賣ノ者ハ、牙保ニ一等ヲ減ス、坐賊ヲ以テ論ス、云々、坐賊ヲ知テ典賣セサル者ハ、阿波判官ニ可然哉、未タ之ヲ為ス、

盜及者ハ、公商ヲ賊年十二月ニ知ル、公商ヲ賊年十二月ニ知ル、公商ヲ賊年十二月ニ知ル

○坐八

及偶物吐ト雖モ、乙素ニ
ニテ詐品ノ欺テ金融ヲ取ノ遂ナリ
ル金露ア欺ル所ニ其ク、故貧窮
ノ者テ吐物偶ニ及ニテ詐品ノ欺テ金雖モ、乙素ニ取ノ遂ナリ
照ノ者ヲ照ノ者ヲ吐物偶ニ及ニテ詐品ノ欺テ金雖モ、乙素ニ取ノ遂ナリ
タ罪其レ罪之金露ア欺ル所ニ其ク、故貧窮
ル畢レ律ア策レ而ル物品ノ欺テ金雖モ、乙素ニ取ノ遂ナリ
サ竟詐坐律ア策レ而ル物品ノ欺テ金雖モ、乙素ニ取ノ遂ナリ
ニ者ヲ、贓例リ、シ返レニ依ル其リ、其ク、故貧窮
科ニ貪其欺賊例リ、シ返レニ依ル其リ、其ク、故貧窮
ニ科ニ貪其欺賊例リ、シ返レニ依ル其リ、其ク、故貧窮
レ依慾返ソ弟之返レニ依ル其リ、其ク、故貧窮
レ、聽ノ金ソ弟之返レニ依ル其リ、其ク、故貧窮
リ、聽ノ金ソ弟之返レニ依ル其リ、其ク、故貧窮
贖リ情ヲ百ヲ濟ラ依ル其リ、其ク、故貧窮
ス、贓ヲ以ヲ五濟ラ依ル其リ、其ク、故貧窮
ス、贓ヲ以ヲ五濟ラ依ル其リ、其ク、故貧窮
ル

耳ハ追徴セサル儀ニ有之乎、

八年一月十五日指令

八掲示條款第百五十七條ニ付キテハ例第百五十七條ニ付キテハ同ク追徴ク

○和歌山縣伺

第五十七條

賣徳ハ追徴セサル儀ニ有之乎、

賣徳ハ追徴セサル儀ニ有之乎、

牙保及ヒ知ル者ハ、價ヲ借用シタル者ハ、其價ヲ牙保ニ直ニ償フヲ能ハサル時ハ、追徴ヲ免レ難キ者ハ、盜賍

有之ト雖モ、本犯ハ勿論、故買者モ亦右估計金高ニ依リ、罪ヲ定メ、可然裁、但贓物追徴方モ、本文估計高ニ

八年一月二十七日指令

○本文但書共、伺ノ通、

京都裁判所伺

第五十三條凡盜賊ハ、買取タル者ニ由リテ、公商公賈ニ追徴スルトキハ、直ニ其者ニ轉賣スル者ハ、右ノ盜賊現在ノ處ニ、不得已ノ事情ヲ以テ、其賣却代金ヲ、公商公賈ニ償ハシメサル乎、又ハ其代金費用ヲ、盜賊ヲ買取シ、甲ヲ追徴スルトキハ、其賣却ノ時、乙ヲ現在セシメ、乙ヨリ轉賣スル處、其盜賊ハ、乙ヲ以テ、乙ヨリ甲ヲ追徴スルトキハ、其代金費用ヲ、甲ヲ供セシメサル乎、疑ハシキ者ハ、其代金費用ヲ、見知者ヘ償ハシメサル乎、又ハ直ニ追徴スルトキハ、其賣却ノ時、見知者ヘ償ハシメサル者ハ、直ニ期限ヲ過キテ、其賣却ノ時、見知者ヘ償ハシメサル乎、又ハ其代金費用ヲ、不知者ヘ償ハシメサル乎、疑ハシキ者ハ、其代金費用ヲ、供セサルト雖モ

伺ノ通、

○濃田縣伺

二人共ニ窃盗ヲ為シ其ニ従タル者、謀ニ其身一人ニ窃盗ヲ為サヘ造ノミニ者ニテ、未タ分タサル行ト謀ト、造ハ、行盗者ヲ以テ、従ト主ナトシテ為レ行ヲ者約シ、

論シ可シ然哉

六年八月廿九日　指令

伺ノ通、

〔強盗ヲナサントモクロム。〕其一人。臨時行ハスシテ。餘ノ行フ者。謀ニ違ヒ。郤テ窃盗ヲ為セハ。〔其共ニ巧ミシ者ノ内人。臨時盗ヲ為スノ一者。共モクロミ遂ヒ。強盗ハ止ヲ。小盗ミヲスルナリ。〕共謀ノ造意者ハ。行ハスト雖モ。賊ヲ分テハ。窃盗ノ首為シ。〔造意シテ相談セシ時。発起人ハ盗ミ賊ノ内ノ発起人ト取レセバ。窃盗ノ従ハ。見做ス。〕餘人ハ。並ニ窃盗ノ従ハス。為ス。若シ造意者。行ハス。

凡共ニ強盗ヲ為シト謀リ。

此條ハ共謀ノ者ニ云フ。其盗ヲ行ナ時ハ捌ルト

共謀為盗ト例ル又ハ引タレハ。ハヲ為ス。

同圖所一一合ザ若仍ズ分俱為ス者

シニノ等等セルシホシタニス。

罪引賍ヲヲ分者行従テザ賊其ヲ

ニ詐ノ加加別等ハト賍ルフ窩以

詐テ。数ヘヘシヲズ。見ヲト。行主テ。

ル窃ヲ其三テ。律賍做分同ト造発

ナ盗計盗犯再文フスツクテ。意頭

リ。者ヘメハ犯ニ分ベ者行財セ人

又贓ヲ分タサルハ。竊盜ノ從ト為シ。餘人ノ行ハス。又贓ヲ分タサル者ハ。並ニ笞四十。臨時主意（初メニテナキ。後人ノ發起人ノ盜ヲナスモクロミ人。）シテ。盜ヲ為ス者ヲ以テ。竊盜ノ首ト為ス。

其共ニ竊盜ヲ為ント謀リ。其一人臨時行ハスレテ餘ノ行フ者。謀ニ違ヒ。卻テ強盜ヲ為セハ。（初メハ小盜ヲ為サント巧ミシガ其内一人盜ヲ為シ時。心變リシ。其ノ餘ノ者。盜モクロミナセバナリ。強造意者）ハ。行ハスト雖モ。贓ヲ分テハ。竊盜ノ首ト為ス。造意者。行ハス。又贓ヲ分タス。及ヒ餘人ノ行ハスレテ。贓ヲ分ツ者ハ。俱ニ竊盜ノ從ト為シ。臨時主意シ。及ヒ共ニ強盜ヲ為ス者ヲ以テ。首從ヲ分タス論（其時ニ鄙リ。思ヒ付テ。強盜ヲナス者ハ。共ニ強盜セシモ。皆同ク。強盜ノ律通リ仕）

置スルヲ。

皇朝律例彙纂巻三終

皇朝律例彙纂巻四目録

人命律上　計一十條

謀殺

謀殺本屬長官

謀殺祖父母父母

謀殺家長

殺死姦夫

殺一家三人

魘魅人

毒藥殺人

鬬毆及故殺

皇朝律例彙纂巻四目録

人命律　計四十八條

謀殺　五條

謀殺官吏　三條

謀殺祖父母父母　一條

殺死姦夫　四條

殺一家三人　一條

毒藥殺人　一條

鬬毆及故殺　五條

屏去服食
人命律下　計一十六條
戲殺傷人
誤殺傍人
詐稱殺人
過失殺傷人
毆死有罪妻妾
殺奴婢
將屍圖賴
弓銃殺傷人
車馬殺傷人
屏去服食　一條
過失殺傷人　二條
毆死有罪妻妾　一條
殺雇人　二條
將屍圖賴　一條
弓銃殺傷人　三條
車馬殺傷人　二條

庸醫殺傷人
威逼致死
瘋癲殺人
謀同死
私和人命
移地界内死屍
同行知有謀害
鬬毆律　計一十四條
鬬毆
官毆内忿爭
毆本屬長官
瘋癲殺人　六條
謀同死　二條
私和人命　一條
移地界内死屍　六條
同行知有謀害　一條
鬬毆律　計二十六條
鬬毆　七條
宮毆内忿爭　一條
毆官吏　三條

拒毆官司差人
毆受業師
威力制縛
毆家長
毆夫
毆傷妻妾
毆三等親以下尊長
毆二等親尊長
毆祖父母父母
妻妾與夫親屬相毆
父祖被毆

毆受業師一條
毆家長二條
毆夫一條
毆傷妻妾一條
毆三等親以下尊長二條
毆二等親尊長二條
毆祖父母父母三條
妻妾與夫親屬相毆一條
父祖被毆二條

○盤南縣伺七年二月三日指人命律、人ヲ謀殺スル者斬ノ處、該犯ノ毒殺ヲ起意スル者ハ、其母曾テ姦夫アリ、已ニ拒絶ヤ、逃スルノ後、艶書ヲ贈リ、共ニ同意セ走セシムルヲ促シ、若シ、殺害スヘキノ文アリ、該犯之ヲ憂テ、父ニ謀ル、父怒テ其事アレハ、姦夫ト母ト俱ニ殺戮ヲ加フルノ言アリ、是ニ於テ、母ノ進退、三ツナカラ生路ナシ、由テ親子ノ至情、止ムヲ得ス、毒殺ヲ謀ルニ至ル、尋常ノ謀殺ニ擬スヘカラス、依テ事情ヲ酌量シ、本罪ニ二等ヲ減ス、

懲役三年　根本寅吉
犯罪三流一減改正ノ前ニ在ル以テ、本議ノ如シ、
同律人ヲ謀殺スル、從ニシテ論シ、加功セサル者ヲ以テ論シ、

皇朝律例彙纂卷四
三河近藤主造編著

人命律上

人殺シノ謀殺ナリ。

凡人ヲ謀殺スル者（或ハ心ニ謀リ。或ハ人ニ謀スルノ別アレトモ。コヽニハ人ニ謀ルヲ云フ。）造意者ハ。斬。從ニシテ。加功スル者ハ。絞。加功セサル者（手ヲ下シタル者ヨリ。一等ヲ減セリ。）ハ。流

犯姦律論セス、姦スルノ罪ハ輕キ者ハ流三等。加功セサル者ハ徒三年。

○同律懲役一年ノ姦夫ハ同母異父姉妹ヲ姦シ、論ルニ近内イサカナカ根本ナ東京裁判所伺ノ松本多三郎ハ、謀殺未遂ノ者ト雖モ、同罪再犯者ニ有之哉、罪案之相添、此段奉伺候也、

七年三月廿九日指令

本律條例凡人ヲ殺シ謀行ハスト雖、謀狀顯跡アル者ノ首、加役百日

同上ノ従田中伊之助

同五十日

同因ノ謀殺ヲ企ルノ罪、其原由、該犯兩度ノ朝弄ニノ起ル松本多三郎

若シ謀テ已ニ行フ（最早手下ハ）ダ未タ傷ヲ云フ。ト雖モ未タ傷セサル造意者ハ。徒三年。

人ヲ傷セサル造意者ハ。徒三年。

同ク行ハスト雖モ。杖一百。

其造意者（人ヲ傷ツケタル者ト。殺シタル者ト。三件ヲ兼ル者ハ。）己ニ行ヒタルト。並ニ身ト首トヲ爲シ行ハスト雖モ。仍ホ論ス。従ニシテ行ハサ

懲役十年ノ處、該犯毒藥ヲ以テ殺ニ係ルト雖モ、姦情確實ニ依リ、殺死姦夫條例、鬬毆ニ依リ、殺ニ二等ヲ減スルノ權衡

該犯、親屬交友ノ間、事義平恕ニ以テ、根本十人ヲ同クニ以テ擬スルヘカラス、鬬毆、余人ヲ論シ、同九十日

存命ナレハ同九十日

該犯ノ毒ヲ施スヤ、大内茂十藏ト寅吉ニ通シ、曾テ殺害シ、別ニ緣組ヲ求メ爲ス機ニ乘シ、此功ヲ以テ先ツ約寅吉ニ處ス。

根本彦

嫁セリ、根本寅吉ニ比擬シ、以テ減ス。

根本ノ犯ル者ハ、同律等ヲ加功スル人ヲ謀殺スル、従ニシテ論ス。

存命ナレハ絞罪

近内忠藏

三等。

若シ心ニ謀ル情ケ事顯ハ或ハ。知ルヘキ様ハ。

心ニ謀ル時ハ。二人以上ノ謀毒藥ヲ相出シ。符セ合フ。ヒ。ヒ。ヒ

○以テ呵責

京都裁判所伺

埼玉裁判所伺

種村辰次郎

本年埼玉裁判所、男女私通ホリ仍テ姦夫ヲ自殺ニ及ヒタル者ハ、首従ノ法ニ準シ、懲役二年半ト御指揮ヲ待チ然ル可キ哉ト中間ニ伺ヒタル者ハ、其男女ハ相犯ス罪ノ軽重ニ依リ、其身体

ハ男夫ノ骨肉タルニ依テ然ト

非ス、元特別ノ權衡ナリ

心得ヘシ、○大分縣伺

文武技藝受業師ノ教戒ヲ爲督責スル子弟ニ及ブ

其弟ヲ殺故ニ、又謀ヲ以テ論シ、其財物ヲ盜ムメハ、凡人ノ財者ハ、盜ヲ爲スノ子ヲ爲ス者ハ、其弟ヲ殺ス、及ブ

凡人ヲ毆ル者ハ、人ニ及ブ師ノ謀故殺ニ加ヘ、死ニ致ス者ハ、凡人ニ各律ニ依テ可然ノ以毆

○同本律ニ依ル謀故毆傷ハスト凡人ト同ク論ス、○大分縣伺

七受打テ其弟子師ノ財物ヲ謀故殺ハ、凡人ノ罪同子ノ以毆

論シ、及ブ其師ノ財物ヲ盜ムメハ、凡人ノ罪同子ノ以毆

儀年十二月二十七日指令

儀、明治四年九月廿四日、流三等處斷濟、舊士族山田登出訴一件、爲取調、

寅之進、前藩ヨリ送致ニ相成居、處斷ノ處、右ハ新律御頒降後、處ニ立ル

弘前藩ヨリ送致ニ相成居、處斷ノ處、右ハ新律御頒降後、處ニ立ル

月廿四日、流三等處斷濟、舊士族山田登出訴一件、爲取調、

山田寅之進儀、明治四年九月廿四日、流三等處斷濟、舊士族山田登出訴一件、爲取調、

少判事大塚正男等出張ノ筋有之、曾テ藩口供擬律案等問合付、舊藩該官取糺候處、別紙之畏ヘノ通申出候、然ニ熟考ノ當ノ切ノ段相

節右寅之進ヘ關涉ノ出ヘ、擬律上不的ノ此

八同

藩ノ一重役ヲ謀殺セントスル者ハ、本條ニ行フ狀跡アリ、雖モ、未タ行ハス、謀殺ニ造意者、徒ニ五年、例百六十條ニ權衡シ、未タ人ヲ傷セサルニ、欲

年伺候也、

月十日指令

候處、先般當縣貫屬士族ノ者ハ、其儘今日ニ立ル

ノ者ハ、其儘今日ニ立ル

仕候ハ、擬律上不的ノ當ノ

様被存候ハ、共律上不的ノ當ノ

條無之、難相決候間、此段相

念ナキヲ保證セシメ

始テ放還スルヲ聽ス

若シ保人ナケレハ獄則チ監ニ入レ

悔過ノ日ヲ待チ始テ放還ス

ニ照シテ懲治監ニ入レ

謀殺ハ行ノ科ヲ聽ス

夫死ダ罪ヤ行ノ科ヲ聽ス

家或ハ親類ヲ受ザル者ハ、右ノ様ニ念ヲ立ルナキ惡ハ分事ニ

後請仕ヲ出再ハ科當ザル者ハ、右ノ様ニ念ヲ立ルナキ惡ハ分事ニ

ニ合ヒ出再ハ科當ザル者ハ、右ノ様ニ念ヲ立ルナキ惡ハ分事ニ

放證スヒ親類ヲ受ザル者ハ、右ノ様ニ念ヲ立ルナキ惡ハ分事ニ

チ人存右ノ様ニ念ヲ立ルナキ惡ハ分事ニ

出ニ念ヲ立ルナキ惡ハ分事ニ

ス立ルナキ惡ハ分事ニ

ルナキ惡ハ分事ニ

ナキ惡ハ分事ニ

ナキ惡ハ分事ニ

第百六十二條　凡人ヲ殺サントスル者ハ、已ニ行フテ、其人ヲ知覺奔逃（已ニ隱シ）レ、未タ傷ヲ受ケスト雖モ、失跌（キツ）倒（マレツ）及ト墮水等ニ奔脱

ル後懲治監獄ニ入レ、後悔過ノ日ヲ待チ始テ放還スルヲ聽ス。

ハ。監獄ニ請合人ニ見合ケレ。

ル人命ニ見心ヨリ。

ユ命ノ。

ヘ。

ノ。

ノ。

ノ

等ヲ破ス廉恥甚ヲ者ニ付テ論シ、族タレハ
下ス坐ヘキト云ハ、庶人ニ依リ、訴人ニ
之ヲ及ハ士族ナラ人ナ及ヒ山條、庶人ニ
決ニ止ヘシ、其ヒ黒内告人ハ
為ヲ進メ、当ト云ヒ一寅ハ
○ 庶人ハ君シ杖百ス、
殺ヲ問ヒ輕ニ依リ論ヲ下ス
人ニ依リ
民尾張国知多郡横須賀村平
愛知縣正山供儀元修
白羽秋葉社三境内私
験致為門屋同社参詣
居候居宅壬申同村坂月借住居
尾
敷ヲ伊活計右衛立詣ノ住ヲ私居ヲ伊右小衛ノ
ハ取返人ヲ殺ト恐怖減少以傍ニ来ハ屋敷
同返人ヲ殺害セシヲ計ト廻

第百六十三條 凡人ヲ謀殺スル時相談抜ノ者打ル因テ其謀ヲ覺レル者ハ故殺律ニ受ケ出来ル心ヲ時ニ臨ミ裁ノ科許ス。當ニ已ニ行フ時ニ臨ミ殺ス者ハ罪人不拒捕亡律ニ依リ。罪人ハ捕ヲ而殺律ニ依リ。捕ヲ而

様子ノ故、雙手ヲ後ロニ尚ホ廻シ、両足用ヒテ左肩ヲ意ヨシ肩ヲ括リ縄ヲ横傍ニ合ノ腹ヲ腹ヲテ縛シ、松掛ケ故掛ケ、抗ケ、再ヒ殴ニ打ヒ右ヲノ方ヲ四体ヲ上ニ掛シヘノ者ハ、縄ヲ解キ命ヲ発シ、縄ヲ切リ、其ノ日ヲ割ル木ヲ焼ク附ケ、虚ヲ社ニ移シ、其ノ節ノ所ニ参ル村安藁心等ニ載セ、積ミ宅ニ相罰ス共ニ重ク長ク申ス、捕ヲ隠シ、捕ヲ被リ、捕ヲ擬ス。

第百六十四條　凡嬰児ヲ殺ス者ハ。各等親ニ照シ。謀故殺本條ニ依テ。科断ス。若シ穏婆。嚫託ヲ受ケタル者ト。

卻テ殺ス者ハ。捕吏格殺ス。律ニ依リ。論スル勿レ。

捕リ方ヲ。擬ヲ。殺ヲ。擬ヲ。ト同シ。ニ合フ者ヲ。

同罪。乳飲以上子ノ殺尊長者。疎ハ。遠ハ。

八年十一月二十三日指令

謀殺斬罪條人ヲ謀殺スル白羽正山者

○司法省伺

謀殺本属長官ノ律ハ、元来属官ノ為ニ設ケ、其本府藩県ノ長官ニ非ル者ハ、勅奏ニ依諸律擬ハ、伺之

○同ノ通、御朱書

五年九月四日

謀殺及ヒ判ル分ヲ長官ス、凡人謀殺ノ法ニ候ハ官員ニ、謀殺ス院始メ諸官ヲ省ル別ニ無之ニ付、右律ニ照テ、擬ハ、来候得共、凡人謀殺ニ相見候間、別紙不都合ニ相成度、此段相伺候也。

通御改正

○同年九月七日、第二百五十号御布告

凡吏卒軍民。本属ノ勅任長官ヲ謀殺スル。已ニ行フ者ハ。流三等。已ニ傷スル者ハ。斬。已ニ殺ス者ハ。皆梟。若シ奏任長官ヲ謀殺スル。已ニ行フ者ハ。流二等。已ニ傷スル者ハ。絞。已ニ殺ス

謀殺本属長官ニ。因テ科ス。

ナル者ト。近親ナル者レバ。分ケ。謀殺。其場ノ出来ル者ハ。故殺ノ律ニ

謀殺本屬長官律改正

凡勅奏判官吏ヲ殺ス者ハ、凡人謀殺ニ依ル律ヲ改メ、一體ニ本屬勅奏判長官ヲ謀殺スルニ科ス、

○同年十一月五日第三百三十二號御布告ヲ以テ謀殺本屬長官、及ヒ毆罵本屬長官之律、改正、

者ハ。皆斬。

若シ判任長官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ。流一等。已ニ傷スル者ハ。絞。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

其長官。及ヒ本屬ニ非ル者ハ。已ニ殺スト雖モ。凡一人謀殺ニ依リ。首從ヲ分チ。罪ヲ科ス。

謀殺官吏ノ律

原謀殺本屬長官律

第百六十五條 凡勅任官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ懲役十年。從ハ。懲役七年。字綱領ナケレ。皆首從ヲ分カツベキ。文ナキ。定メ。

（分述ヲ詳カニ。）

已ニ傷スル者。首ハ。斬。從ニシテ。加功スル者ハ。懲役終身。加功セサル者ハ。懲役十年。

已ニ殺ス者ハ。皆斬。

若シ奏任官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ首ハ。懲役七年。從ハ懲役五年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。從ニシテ加功スル者ハ。懲役終身。加功セサル者ハ。懲役十年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

若シ判任官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ。懲役五年。從ハ。懲役三年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。從ニシテ加功スル者ハ。懲役終身。加功セサル者ハ。懲役五年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

第百六十六條　凡判任官。勅任官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ。懲役七年。從ハ。懲役五年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。從ニシテ加功スル者ハ。懲役終身。加功セサル者ハ。懲役五年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

謀殺官吏條例

已ニ殺ス者ハ。皆斬。若シ奏任官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ。懲役五年。従ハ。懲役三年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。従ニシテ。加功スル者ハ。懲役終身。加功セサル者ハ。懲役五年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。

第百六十七條　凡奏任官。勅任官ヲ謀殺スル者ハ。判任官。奏任官ヲ謀殺ス

○長野縣伺節罪案錄
信濃國更科郡鹽崎村農松
井鵠次郎供、私儀家計窮郡ニ
丞ニ父ヒ、母ミワハ埴科郡
板木村某方ヘ雇ヒ稼キニ
罷越シ、私ハ小縣郡上田町相
農山崎袈裟五郎食客ト相
成候處、同人ト組合、料理
屋可營ト相談致シ、資金ノ
為メ所持ノ土藏賣却シ、寄

ルト。罪同シ。其勅任官。奏任官ヲ謀殺シ。及ヒ奏任官。判任官ヲ謀殺スル者ハ。凡人謀殺ヲ以テ論ス。

（高官ノ者ガ。下官ヲ殺キハ。並ノ人ノ謀殺セルトキ同ジ。）

謀殺祖父母父母

凡祖父母。及ヒ伯叔父。姑（ヲチ、方ノヲデ。）兄姊（若クハ外方ノ母ヲバ。）夫ノ祖父母。父母。ヲ謀殺スルニ。已

七

留証書ヲモ持参可致ト存
候ハヘ共、私ハ未タ若輩ニ
年箇月六母ヘ懇談及ヒ、云々、土蔵ニ付、一貫応承ル五十
致ス諸ナル故、他ナカラ、当時ハ折ヲ可償ヲ立項
致シ候ハヘ待旨申聞ケ、高価ノ承引ヲ望ヲ右
其ノ他ハ、寧ロ以テ、畢竟母ヲ遂グル能ハス、
月八日指令

年二月八日指令

土ヲ藏ヲ付ヲ死ニ至ル成ル
心ヲ起シ、自由ニ相ニ
母ヲ誘引シ、再応熟議ニ
不承諾ヲ彌以テ土蔵ヲ
返答ヲ相尋ヲ賣却ノ
母ノ付ヲ居ヲ不承
咽ハ、帯ヲ候ヲ知
四喉ヘ胸ヲ所ノ諸
箇ヘ立ヲ付ヲ二階
所ヘ刺ヲ乳ヲ上ニ
切ヲ打ヲ脇ニ
付ヲ倒ヲ突
殺ヲ上ヲ差
害ヲ

行フ者ハ。皆斬。
同意シタル者モ。
皆同罪ナル者。
謀殺スル流一等。
首ハ。傷スル者。
功スル者。
凡人ト同ク。罪ヲ論ス。
此條ハ。凡テ祖父母ニ下ル親族ニ三等ニ分チタル断然非ス。
殺ス者ハ。皆斬。
已ニ殺スル者ハ。
已ニ行フ者ハ。
尊長ニ加ヘ。
従ハ。徒三年。
已ニ下ノ親族ニ三等ニ分チテ説ケ以テ下ノ二件ニ等ニ下ス。

謀殺祖父母父母條、母ヲ謀殺スル者、梟示。

○神奈川裁判所伺　松井萬次郎

武蔵國都筑郡奈良村農其云々、

当テ父ノ怒ニ觸レ、他家ニ雇人トシテ、妻ヲモ離別シ、遺レリ、必竟自ノ不良ヨリ申シ乍ラ、其節ハ、親属ノ詫入モ聞入サル心得モ亦不宜ト思念ス、大醉ニ及ヒ、遺恨ニ堪ヘ難ク、忽然殺意ヲ発シ、夜九時父ノ寢所ヘ忍入リ、捧殺ニ及ヒ候云々、

年七月十四日指令

○人命律ニ、梟示ニ、已ニ殺ス者、野川安五郎

謀殺ス、

○三重縣伺　伊勢國朝明郡某村農内田喜六元来惰弱ノ性質云々、

若シ五等親以上ノ尊長ニ我ガ親族ニ等ニ夫ノ祖父母ハ。四等親ニ外ニ已ニ殺ス者ハ。故殺律ニ依リ。二等ヲ減ス。已ニ傷スル者ハ。一等ヲ減ス。

幼律ニ依リ。二等ヲ減ス。已ニ傷スル者ハ。一等ヲ減ス。

各鬪毆律内尊長故殺卑ハ。

謀殺スル。已ニ行フ者ハ。

一門ノ目上ノ人ヲ云フ。卑幼ハ。

律ニ親族ニ等ニ下ル者。其情ヲ酌ム。

求ムル宜シキ。

讀ミ。

借錢等アルヲ以テ、凡米藏ヨリ毎々折檻ヲ受ケ、心苦キヨリ餘リ、同人ヲ失ヒナハ、家ニナ跡モ續カレ、萬事氣儘ニ窺ヒ、腕ル可ク存シ、醉眠ヲ通レ及ヒ差ニテ、咽喉ヲ刺通レ及ヒ、殺害候、

六年九月八日指令

人命律、兄ヲ謀殺スル者、内田喜六梟示

○例第九十七條 凡官吏華族ノ家ニ、給侍役使スル男女士卒、奴婢ヲ、役使スルト稱スル者ハ、雇人ト稱スル者モ、其各律ニ分別輕重アルニ、役使ヲ改メ、俱ニ雇人ト稱スル者ハ、雇人ヲ以テ、家令家扶番頭手代ノ類ハ、同居ニ論ナク、雇人ヲ以テ、處分スヘシ、

一、林ニ雇人ノ權衡ニ從ヒ、科斷ス、

○京都裁判所伺七年二月三日指令

ハ。皆梟。

若シ雇人。家長ヲ謀殺スル。已ニ行フ者ハ。流一等。已ニ傷スル者ハ。絞。已ニ沒ス者ハ。皆斬。

殺死姦夫。

凡妻妾。人ト姦通スルニ。本夫。妻妾ノ姦所。密通スル場。於テ。親ラ姦夫姦婦ヲ獲テ。即時ニ殺ス者ハ。論スル。

傷スル者ハ。斬。已ニ殺ス者ハ。皆梟。

謀殺祖父母父母條例

第百六十八條 凡祖父母。父母。及ヒ伯叔父。姑。兄。姊。若クハ外祖父母。夫。夫ノ祖父母。父母ヲ謀殺スル。已ニ行フ者ハ。皆斬。處スル律ヲ改メ。皆絞。

謀殺家長

凡奴婢。家長ヲ謀殺スル。已ニ行フ者ハ。流三等。已ニ

一、林ニ雇人ノ權衡ニ從ヒ、科斷ス、

○京都裁判所伺七年二月三日指令

家令家扶番頭手代ノ類ハ、同居ニ論ナク、雇人ヲ以テ、處分スヘシ、

○新治裁判所伺七年二月十日指令

本夫曾テ姦所ニ在テ、自ラ姦夫姦婦ヲ獲テ、督責スルニ、悔悟罪ヲ謝スルヲ以テ、懲誡シ、宥恕スルノ後、猶之ヲ改メス、一時復タ田間ニ姦通スルヲ見テ、捕ヘントスレトモ、走テ獲

○右衛門督政吉儀上神内川

第十三区管下甲斐国山梨郡

山梨県裁判所

無罪ト

毛利助

伺ヲ以テ石論シ

外ニ逃ル

脱ス

於本夫ハ

義ヲ殺サ

ク遅ル

ト怨ニ

ク、我再ヒ

ス、翌日姦夫、傲然父ト来リ、姦ト婦ス、本夫其忌ヒ、子憚ナ来リ

憤セ姦ノ罪ヲ牽ヒ、問フ汝カ意ノ夫面前ヲ浴

ニ姦ノ実ナリ、直チニ浴ス所ノ悔ヲ起マ日

ヨセカ姦ヲ本夫ニ其罪言ヲ慚無礼ヲ

ヨリ、ヲ姦ノ夫ニ其ヲ加ヘ一時兇セ

ミ、本夫ニ直チ執ル言連ル

ナ、ヲ殺ス者ハ姦ト同門ニ

ヲ殺ス、ヲ姦ト婦ニ

ヲ殺ス、ヲ姦ト婦ニ

ヲ殺ス、ヲ姦ト婦

雖ヘ連行キ政吉ハ日ノ目ヲ下ッ刺ヨリ刀サル様屢迫ル十三吉ハ自ノ長ケ政吉ハ自ノ者ト夫ト七ノ例モ御私號所ハ役七十二ハ令不問之本不問姦通第九申ハ懲役終身ニ付ハ病中ハ懲ノ如マ置レ依レ雖ヘ

右二寸程ノ傷ヨリ鼻ヘ以ト テ政吉ハ自ノ者ハ姦夫姦婦ハ自ノ各自ノ

昔律一致レ在ラ候然ニ付ハ姦ハ青政吉ハ自ノ各自ノ

役ニ付ハ姦ハ青政吉ハ自ノ各自ノ

第百六十九條 凡姦夫自ラ本夫ヲ殺ス者ハ姦婦。情ヲ知ラスト雖モ。絞。故意ニ殺シタル者。

第百七十條 凡姦婦。自ラ本夫ヲ殺ス者。斬。情ヲ知ラサレハ。止タ姦罪ヲ科ス。

密婦ノ殺ノ了簡ニ其夫ヲ密入レタ其心ヲ止タ密通ノ罪ニ許サレ申ハ。

七姦婦ハ俱ニ本罪ヲ科スヘキ哉。

○依東京裁判所伺節罪案録東京本所緑町商村上竹藏、

姦事ハ本夫私和スレハ、姦夫ハ十年ノ懲役七十日ノ実断ス、

十月八日指令ヲ科スヘキ哉。

供、私儀零落シテ人力車ヲ稼キ罷在候處、妻ッヲ然離別ヲ乞ヲ付、相怪居候所、或日酒田倉吉ト酒ミ且囲窮酌ヲ罷在レ故、彌相怪ミ、

中白畫他人ト酒ミ候ヲ

相咎メ候ニ夫レカ意ニ適ハサレハ、離縁セレトヨカ杯申レスハ付、果シテ彼レ姦セ

ハ察セモ、實跡見届候ニ

其儘差置候ニ、猶強テ離婚故

出致レ、其後同人兄源藏並

媒介ノ者相越シ達テ離縁

モトハ無之、其上乳兒モ有之故

其ヲ望ミ、本年六月ニ至リ家

レ渡ス。

第百七十一條 凡姦婦。過ヲ悔ヒ拒絶スル後。姦夫。姦好ノ續キ難キヲ憤リ。本夫。及ヒ祖父母。姦婦ヲ殺スル者。拒絶ノ證據。明白ナレハ。婦女ハ。止タ姦罪ヲ科ス。

姦婦ハ。後悔メ。懲ニ緣ヲ絶ツタル。密夫ノ忘レカネ。其淫樂ヲ。シミ。アマリソノ夫ヤ。或ハ身近キ。祖父母ヲ殺セキ。最早惡ヤ。

十論信夫メテシ終人致懲ニス尋ト仍歸屋身ヲス役條ヘ常親ホラ離ノ殺若五ヲカ休密其ス、緣度ニ例年参ラ書シ約强ヲ其者第酌スヲテニテ乞妻ニ百村シ因受顧背休ヒ本擬七上三アルミキ書荒トシ十等例者ス、直ヲニ人本五竹ヲ第ト不ナ出出ト罪條

人命傳上

殺死姦夫

織減百同義ニサ夫通懲闘ヒシセク不姦シシ姦役毆

上減ナク刑照相取ニ

ルスル審連リテ

姦者ハ闘折止ハ闘ス弊ケヘナ

夫スヒ傷ク闘ス糾二ナ請モ

若ハ殺傷體手姦殺婦傷ニ減ニ

姦ハ闘折傷ク闘ス糾二ナ請モ

夫ハ殺傷和情跡ナ婦

男證陸姦

婦跡ナ情和傷體手姦殺婦傷ニ減ニ

ヲキラ腰ノ姦ニニ足ノ

殺ナズ昧本五傷ヲ二ニ減バル密

傷レメ確條等ッ折ヲ禾一二情テ殺密ヲ

ス疑據ニヲ仁等確ト律通殺

ル通器依減以スヲ實ニシ

依八書年致其ノ付ヘ其部隠キハ相前受吉本ハシマルノ

ヲ一シ咽腕シ罷夜ヘ怒ナ他咎條ケ合所致離サ熊談

與月候喉ヘト越小疵ニシ出メノ直傘堅サ緣ル吉判

フニ ヲ坂セシ刃付進トノ候姉チニ川ス狀據トニ

ル十 喇付シツヲ鬱兼粗元ニ末ニテ通候相可同及

妻一 シ深所ル懐惜此忽ノツ盟源通ニ慶渡致廉ヲ

ヲ日 候合同ヲ中ヲ上ノフル約藏行於同レ肯ハニ

毆指 ヘフ人呼シ散ハ拔ハモニ方セテ月未堅勿付

チ今 ハ際ヨ出彼セツ拶知足背ヘシツサヲク論向

死 即謀リシカンルアク相ヲル六送相相後

ニ 死テ紛疵宅ト面付可レ段越見熊日籍約親ツ

第

スニナマ姦テ脱見ヒ婦百

ル非シ若所門逃タ見姦ル七シノナ凝

者ス ト外ダスル附所十渡罪レヲ

十密シシ同ニルナラニ二スノバ切

ク通ガテ姦至ニ於條ナミ女タ

又場姦所シ律リ本セテ申ハル密

ハ所夫及テニ殺ヲ夫凡姦ッ疑

其ニヲヒモ於ハ即レ夫姦夫密分通堀

當タテ殺即差ヲ時直ニ擅姦

坐モ傷時カ殺ハ逐ニ

○筑摩縣伺別居ニ係ル父子兄弟等共犯罪ニヲ依犯スル者本條一家共ニ犯ルス可キ者ハ止ム

○六年九月二十二日指令

在各縣裁判所伺罪案録カラス

○千葉縣裁判所伺罪案録カラス

居ノ者ハ一家共ニ犯シタル者ハ各居ヲ可キ儀ニ付キ可有之哉

至親ニ係ル者ハ尊卑ヲ依ルヲ可然哉

見聞ニ付キ長幼ヲ論セス

候間ニ係ル者ハ止ム

右ハ雖モ本條例中同等ニ依ル

體ニ付キ可然哉

皆共犯ニ係ル

至親ニ係ル者ハ兄弟等共ニ

凡一家ノ人以上ヲ殺スハ皆梟ス

凡謀殺故殺放火行盜ニ依テ一家三人ヲ殺ス者ハ客謀故鬪殺傷本條ニ解ス

謀殺故殺鬪毆殺等ノ捉ヲ通リ取リ訴フナリ

安房國平群郡山田村叢鈴村年年簡本歸逐越妻サル余共ニ同ル掛ケ難キ意ヲ付ク延ヲ切ク逃ヲ後ニ付ヲ取ル上ヲ殺ス

突キ悉ク殺害及ヒ、歸宅致シ候

八年一月二十三日指令

本條ニ非サル謀殺シテ一家ノ死罪者三人以上ヲ殺ス者、鈴木善右衛門

○小田縣同人命律凡魘魅ヲ行ヒ、符書ヲ造リ、呪詛シテ人ヲ殺サントスル者ハ、各謀殺ノ以上ヲ論スル。止タ人ヲ疾苦セシメン欲スル者ハ、謀殺已行未傷ニ。二等ヲ減ス。

凡魘魅ヲ行ヒ、符書ヲ造リ、呪詛シテ人ヲ殺サント欲スル者ハ、各謀殺ノ以上ヲ論スル。止タ人ヲ疾苦セシメン欲スル者ハ、謀殺已行未傷ニ。二等ヲ減ス。

魘魅人

ヒ同居セスト雖モ。父子兄弟等。至親ニ係ル者。皆是ナリ。

魘魅人

○小田縣同人命律凡魘魅ヲ行ヒ、符書ヲ造リ、呪詛シテ人ヲ殺サント欲スル者ハ、各謀殺ノ以上ヲ論スル。止タ人ヲ疾苦セシメン欲スル者ハ、謀殺已行未傷ニ。二等ヲ減ス。

魘魅ノ術ヲ云フ。其本意モト魘勝鬼魅ヲ書ハ術ニトテハ、論スル何ソトル有リ之方法事ニ使ヒ、現ニ實驗ニ依ル人或ハ妖符ヲ書ク

條ニ依テ斷ス、可シ然ル、九年一月九日指令

魘魅ノ事、史傳ニモ數見ル。雖ト其方法及ヒ實驗ハ、現ニ其事實ニ難シ。

咒詛等ノ事、史傳ニモ數見ル。雖ト其方法及ヒ實驗ハ、現ニ其事實ニ難シ。

有リ無ニ至テハ、審明シ、一時ニ就テ、愚頑嫉妬ノ念ヲ、一概ニ此律ニ依ル可カラス、

○瑞玉裁判所伺

光妻ノ女シモヘ、彦兵衛ヲ聟養子ニ取リ、別居致サセ候所、兩人共、平常ノ事、鬼角私ニハ押隱シ、夫藉太郎ヘ耳相談ス、畢竟私ヲ継母ト

凡毒藥ヲ用ヒテ人ヲ殺シ。及ヒ藥シテ死セサル者ハ。

毒藥殺人

仕下ケノ心符殺ト疾ク件ケ殺出人ヲ思ヒ書スレ若ニ律ヲ殺ル手ヤスヒ込ル了分ルメ分ルノ。罪下レモ簡者テ。又チト。已サ科抵ニナハ。怨人テ殺ニナン即ナ其ミフ罪シ行レト坐ト本ヲ苦ヲタフバス。未レ違ハ。心晴マ該レト。孰ル謀傷深出魘已サシルノ。傷モヨ殺ク來魅ニンメ。ナ三ツ謀リ。引ツ

忌避スル所ノ性、殺意ヲ為メ、食物ヘ蠅夾ヲ取ル苦ミ、聊カ心ヲ慰ム如何ニモ殘酷ト雖ト、紙ヲ摺付ケ候ハ、娘ニ喰ヲ贈ル数日ニ捕リ事実取乱サレ、遂ニ御郡大

○

七年二月廿七日指令

他ノ苦素ヲ以テ殺シ死スルヲ用ヒ、毒ヲ盛ル狀情、毒ト雖モ疾

○

東京裁判所伺

殺人ノ為ニ輕酌量シタル犯罪ニ係ル

恐ル可キ事ニ人命ニ不云

殺人ノ為ニ以テ收贖ヲ聽サス

殺人ノ為ニ以テ三十日中尊長卑幼ノ論ナク狀情ヲ斟酌スル

殺人ノ為ニ以テ殺人ノ為ニ以テ

殺人ノ為ニ以テ

殺人ノ為ニ以テ

忌避スル心底如何ニモ心外ト存セシメ殺意ハナク聊カ苦ヘ候ハ蠅取藥ノ殘紙ヲ為メ食物ヲ付ケ喰ハ蠅ヲ差贈リ渾ト娘ニ致サ腹痛致サレ候所、蒟太郎御召捕ニ相成候、事實取糺サレ、遂ニ

七年二月廿七日指令

○

七絶苦素ヲ以テ酌量シ、事人命ニ係ル雜犯律不丟ト雖モ、疾ヲ為ノ輕ニ問ヒ、收贖ヲ聽サス、

○

母毒藥ヲ用ヒ、賢夫婦ヲ殺シムル狀情、慘毒キト念盡ス、

東京裁判所依頼ス養子養母ヲ殺セシ者

懲役三十日

關毆律中尊長卑幼ヲ論スル狀情ハ比照スル非ス、故ニ折傷ニ勿レ

一藥ニ切人ヲ指テ毒藥ハ人ヲ殺スヲ貯ヘ置キ云フ程ニ病等ニ若シ其ノ死ニ三付テ疾然ノ

依頼ヲ受シ雇人、及ヒ周旋シテ金ヲ欺キトリタル罪

案ノ伺

七年二月二十四日指令

該犯養子善右衛門ノ獄ニ下聞ヲ誤ルヤ、應死ノ罪ニ係ルト雖モ、其家名ノ斷絶ニ至ラシムルヲ恐レ、寧ロ獄死セシムルモ、家名ヲ存スルニ如カスト、竊カニ雇人金藏ニ、毒殺ノ周旋ヲ命シ、其事未タ成ラスト雖モ、事理為メカラサルヲ以テ、雜犯律不應為ノ重キニ問ヒ、收贖金一圓七十五錢

懲役七十日、情ヲ量リ、收贖ヲ聽ス、

該犯、家長ノ養母、獄中ノ家長ヲ毒殺セントスルノ命ヲ受ケ、既ニ其藥ヲ買フト雖モ、其狀平居ノ人ヲ謀ルト異ナルヲ以テ、尋常毒藥ヲ買テ、未タ用ヒサル者ハ徒二年半ノ情ヲ知テ毒藥ヲ賣ル者ハ、同罪ニ流三等ニ止ル。知ラサル者ハ坐セス。

第百七十四條　毒藥殺人ノ條例

凡人ヲ殺スノ心ナシト雖モ毒藥ヲ用ヒテ故サラニ疾苦セシムル者ハ。懲役八十日。

律所闘　人闘　年指誤ル機リ疎人之人　○　減故
五為毆懲ヲ毆収贖シマ測助暴タヲ命指大徴シ殺
刑ノヲ役毆律贖ヲ上リハリルサル阻律令分役ス
像疎勧四十金十贖ヲ認ツ難者ルヲ當　懸終ル
例累解日傷瓦圓ス折ルミキトヨ知ス闘伺事ニ撥
ニナセヲ石ルタ人ヲシリテル毆六日徙ト
ヨルシ中成槌柴ニシヲ顧衆妝ス二ノ年清シ
リヲト材ス棒山眠テ傷感暴藏且夜隙八水斬
リ、シ十妝者、年本ヲ懲矣其拔セ暴暴員人月庚一
テ、ス名ニ藏シ治役傷原刃ス、類動黒夾十作ヲ
例其テ一二由ス禍衆ノ何テ、日重

其云ハル　トミ何毆ヲ故ニシ者バ人ヲ他ノ足ニハ手ニ凡
出云者謂故ヲニネナバガ器ヲ可ノニ人足ノ闘ヲ
来ト　ハ　トニ推ヲバリ金人械殺キ物テヲ他ノ毆ヲ
心ハ斬リ並ニ刺金又刃ヲニスニニ毆殺物シ
モ故ニ題ニ死ヲ刃殺ヲ殺ハ心罪ヲテタス金ニテ
シ殺テノ並ムナヲス待ス依ヲ同打リ道刃刃人
臨リノ出注ニルリ待ベズベラ推キ殺疎耳ヲ
時本来ニ絞ニ止ヲキ下キズシヲスクニ問ノ殺
ニ注心時故アリ本謀本詰究ケトリテハス
非ナアニ殺ハ心ニ意殺意シムハハ又手ズ者
レリリ臨スノ奈闘ナノナ其レ其壹ハヤ刃金ハ

因ト崖逐ヲ作該　○　人　○　懲命指愛　懲シテ　減依用朝
ル言下撃逆ノ犯十山　懲命指愛　懲シテ　減依用朝
ニヒニヤ去因争日刹ハシ毆役律令嫌　役ヲ　作ル
ア難死シレ喉闘指裁軽及傷終　縣大シル　元文
ラレスト傷ヲノ令判ヲヒス身闘伺十ノ者
ス、ト其シヲ刃除所以内ル毆六日徙ト云
因雖死失裏傷殺伺テ濟ノ祝シ年
テモ自跌ミス意六論示ヲ山人七正ナニ
本又カ滾石順ヲ年セ該人常ヲ月木ヒ撥
條奔ラ墜ヲ作生ハスヲニ殺十金一シ
人逃取シ構其シ月為圖ハス七藏寺難
ヲニルテ、ヘ塲順二ス類者日ヲシ、

闘懲

闘ト懲シセナク殺
リアトクザノテニニ謀隨ヲ云特ト毆対役ノシトヒス
合ニ同此ル知人臨非共従闘ヒリ及ハハハニ又程
ナテジレ故ルヲミ毆ノ毆両毆故宣ルルテ闘ノ
キ謀簡故ニ可殺出其ト者ト人打殺ヒハ主ニモ蠟心毆
道殺條殺故キス本闘ナアス云相ク　サハ意イナノヒ
理リトニノトフハ心毆スレフ對フ　ルナニク方法
ナハ人闘名ニ他アノ闘ベ者メ毆　ナ日テ疾違ハ
リ懸カ毆ヲ非人リ時歌同レ毆ト　リノ飲々若ヒナ

且屬性遊戯シテ云捕トルヽ以刺テ然妻夫ヒ逆問辛詈衆馬藏王役ヲ持々亡熟トテ此見ル夫ト甚ルヲ未叱大菩國藏十壇セニ律ヒ性森時黒ニノ鍬ヲニ十吃酒次崎判日殺サ擬罪然命夫ニ夜共友認偽及答月或ニ郎王所スルス人ヲト方無支ニシテ、ヘ大ハテ曰郡伺入ルヲ可兇ヲ鐵ナリ言應シ斬ル彼ス聯折常私笹川者以キ器ルス、シ該ニ死テ、テヲレシニメニ長久條ニテ、ノヲヲル裁犯シノ其斃以天テ打兩男俗三比一處待得ノ噴ノテ罪人ステ、撃逃外擲親麟村郎擬時唯シス急ノ心反人ニ必レヲ、ヨスヲ吉農

○激器捕テルス然急システ、数勢ヒヲ捕トルヽ以刺テ然妻夫ヒ逆問辛詈衆馬藏王役ヲ、持々亡熟トテ此見ル夫ト甚ルヲ未叱大菩國藏十壇セニ律ヒ性森時黒ニノ鍬ヲニ十吃酒次崎判日殺サ擬罪然命夫ニ夜共友認偽及答月或ニ郎王所スルス人ヲト方無支ニシテ、ヘ大ハテ曰郡伺入ルヲ可兇ヲ鐵ナリ言應シ斬ル彼ス聯折常私笹川者以キ器ルス、シ該ニ死テ、テヲレシニメニ長久條ニテ、ノヲヲル裁犯シノ其斃以天テ打兩男俗三比一處待得ノ噴ノテ罪人ステ、撃逃外擲親麟村郎擬時唯シス急ノ心反人ニ必レヲ、ヨスヲ吉農

第百七十五条

鬪毆及殺人ハ命ヲ以テ償フ

鬪毆者致死ハ命ヲ償フ

鬪毆及殺人ハ故意ニ出テ人ヲ殺ス

鬪毆及殺人ハ合ト人者ノ共起ヲ殺ス

凡鬪毆例ハ手ニ共ノガ了ノ同人下ノ傷物ヲ下談ト出テハ共ノ殺ニ為ス人ノ初ノ人毆ハ人毆ハ間ト

夫者七ニ夫年起ヲヘ時懲人以起人去就過ノ犯指滋呵以森一シ以暗王役ヲ鬪ヲ毆ノル話ス客酒令賀責ル婦月斬テ中裁終殺毆論打勘ヲアヘナ食聚者ヲニ殺返該判身ス及スシ囮勘ルシ、ヲ、店伺ニ追十ス、撃死所者故ヘテヲム、ヲ然宜ヲ、六慶尋日伺ス人森門ハ殺ヲ死聽因以ルク開、年安村ニノ指怨ヲ夫地條ヲニカテテ、ニ檀ヲ、九郡谷雖除令然追ト例ス、致ス、相强自讓藏月熊嘉伺黒殺ヲ思亀ス、剩承テ已ヲ七十五市徒夜意所ヒ吉凡人理サ嬢藏他ンハ三郎郎名致ヲ金建鬪命宜ヘシ、七人テ、永日

夫者七ニ夫年起ヲヘ時懲人以起人去就過ノ犯指滋呵以森一シ以暗王役ヲ鬪ヲ毆ノル話ス客酒令賀責ル婦月斬テ中裁終殺毆論打勘ヲアヘナ食聚者ヲニ殺返該判身ス及スシ囮勘ルシ、ヲ、店伺ニ追十ス、撃死所者故ヘテヲム、ヲ然宜ヲ、六慶尋日伺ス人森門ハ殺ヲ死聽因以ルク開、年安村ニノ指怨ヲ夫地條ヲニカテテ、ニ檀ヲ、九郡谷雖除令然追ト例ス、致ス、相强自讓藏月熊嘉伺黒殺ヲ思亀ス、剩承テ已ヲ七十五市徒夜意所ヒ吉凡人理サ嬢藏他ンハ三郎郎名致ヲ金建鬪命宜ヘシ、七人テ、永日

毆夫毆ヒ。致ス因テ何レ毆ツ生リハ人シ足殺ハ、鬪ハ、命ヲ相事同ハ内メ故鬪俱ガ又獨罪ヲニク傷死談ニク此中ニシ殺毆ニ知殺リニ傷内ヲニシヨ謀ヲニ生カノト謀ヲサ心仕ノヲニ為ナ致人ラリケ此ヌモ心共殺バシニ置殺死ススラヲ共ナ被レ故ハ毆人ト造意ス起人者ニ毆大ニリヲバ殺必ノ了ニス意ル人シアハ手打殺人毆了臨ノリ心ナナデ者レ殺ヲヲ組ヲ毆了合了毆リナハ勢大下了合了毆トハ時了臨ヒヲリ

ヲ、ヘ迫サ、盡玉フレフ故七前ニ

粗ボ其リ、父ニ合沾ナ毆犯年ヘ、其シリフリ酒来リ

父ラ情憤フ、フハ家罵ナ一ヘ、撿外殺レ以シスル歸

母ス、狀怒趣猫沾レニス不月自使三意故ナ所ルトリ、

父子桑之毆不サ、歸ル平二死ル四フ重擊其ヲ申私

母孫常ツス、足與該リ、フ素十ノ手毆發ナ撕少恐ニ

婚數故毆該フク犯老數火四趣數打レ、ノリキレ、付、對

責令殺殺犯怒レ之父回酒日一フル趣不ナフ五酩レ、酒

セ、ニフ怒鬱リ、ハカ一フ指届恐ナ二孝外怒合酊酒

邂逅以ル第新之為酒日好令候レ、絶テフ近リ求ル一

近犯擬ニリフフ一一大ミ、節罪村命頭憤驅剣ル上升

死シス至情提飲酒升醉父ナ丈縛サ上怒来木歸過買

終身。犯人ヲ殺ス者ハ。絞。改テ。懲役

第百七十六條 凡亂毆レ人ヲ殺レ。傷ノ先後輕重ヲ知ラサル者。原謀者ヲ。懲役終身。處ス。若シ原謀。共ニ毆レ人ヲ殺レ。傷ノ先後輕重ヲ知ラサル者。原謀者ヲ。懲役終身。處ス。初鬪者ヲ懲役終身。處ス。此條ハ發起人ノ殺毆ニ關シテ。謝見ル子之ニ。ハ。

合レタ者。ハ。ハ。ハ

七　該
五　盡
ヲ　レ　ヲ　該
テ、ヘル、迫ケ
祖カ其リ、父シ合沾テ毆犯年ヘセ、其シ、リヲリ酒来リ歸
父ラ情憤ヲテヲハ家罵ノ一ハ、撿外殺シ以シスレ歸
母ス、狀怒趕猶沾シニス予月自使三意故テ所ルトリ、私
父子尋之毆不テム歸ル平二死ノ四ヲ重擊其ヲ申ニ恐ニ付對レ、酒
母孫常ヲス、足與該リ、コ素十ノ手毆發々掛少恐ニ付對レ、酒
督教故毆該ヲフ犯老數大四趣數打レノリキレ、酒
責令殺殺犯怒レ之父田酒日ニヲシ槌不戸ヲ五酩合酊酒
レ、ニヲス勢リ、ハ、カニ一ヲ指届恐テニ孝外怒合酊酒
邂逅以ル窮薪之為酒日好令候レ絶テヲ迫リ求ノ一
近犯擬ニリヲヲ提情至スス命頭憤驅割メ上升
死シ　ヲ　ニ　ヲ　ニ　一　大　ミ　節罪村　頭上怒来木歸過買

第百七十六條　凡亂毆シ人ヲ殺シ。傷ノ先後輕重ヲ知ラサル者。原謀ア者ヲ。懲役終身レハ。原謀者ヲ。懲役終身ヲ殺ス者ハ。絞。改テ。懲役終身。

第百七十七條　凡亂毆シテ。人ヲ殺シ。先後輕重ヲ知ラサル者。若シクハ。原謀。共ニ毆テ。各致命重傷。共ニ毆テ。人ヲ殺シタル者。大勢ニ處レ。此ハ。發起人ヲ殺シ。毆ト。處ス。若シ原謀。共ニ毆サレハ。初鬪者ヲ懲役終身ニ處レ。別子ニ謀ヲ。懲役九十日。

故。其科ノ者ニ。原謀者ハ。懲役十年。餘人ハ。並ニ懲役九十日。

一致ス者ヲ以テ論シ、其罪ヲ正ニ責ヲ實ヲ以ル以ス者ヲ唯死ヲ實

上ナルヲ以テ、

収贖金三十圓

例百八十三條、毆ツ清

很十年、罵ル者ハ三者三

ル、夫年罪ハ郎

ヲ之ニ毆ツ百日ノ故以ニ

比ヲ照ス、ノ罪ニ談ヲ

ス、ス難シ、本ニ懲

○

官議ヲ崎縣盡ク

士族、鬪毆伺

事跡ヲ秘隱シ、末、人

因テ發覺シ捕官

八禁錮終身ニ縛ノ

又鬪毆殺ハ破廉恥ノ

ト雖モ、事跡ヲ隱匿ス

士道ニ非ス、破廉恥ノ

タ除族ノ上、懲役終身ニ可似ハ、

處斷ス、役甚ルヲ申ス哉、

七年三月二十三日指令狀本文ニ

闘毆人殺者、科恥ス、甚ヲ

依ノ如キ論ハ、懲役終身ニ破廉恥ニ

以テ

第百七十八條

凡同謀共

傷人ヲ毆傷ノ重キ者ハ其場ノ身死ス

急間ニ所ルニ傷ヲ急ニ皆致命タリ。

十年ハ一等減シ。懲役

○

大坂裁判所伺

大坂南大組第十三區高津案

町工西村善八儀、別紙罪案

通、被殺人横山伊兵衛等、輜

犯工夫ノ器械業ヲ以テ、

醸成セ夫ハ職ノ數十人害ヲ申合談承ル

允判セン輜該造ト成ル、同工止ノ儀、強盜ニテ襲撃ス

セ新ト慮ル器械ヲ發ル所、該犯人ヲ容易ニ

シ、及ク械ヲ所ヲ兇暴遂ニ極闇ニ

犯頻ル所ヲ兇暴ニ遂ニ極闇ニ

醸ス寡ルヨリ敵ヲ見ル際ニ

犯ス寡テ擬ヲ見ル際ニ

衆以テ該妻ヲ見ル伊刀該

以ヲ衛ヲ該妻ヲ見ル伊刀該

止ヲ兵ヲ該妻ヲ見ル伊刀該

傷ヲ見衛ヲ該妻ヲ見ル伊刀該

見ヲ衛ヲ該妻ヲ見ル伊刀該

覺ヲ止ヲ以テ、死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

情ヲ傷ヲ以テ、死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

直ヲ見ヲ得ヲ闘ヲ毆定擬ル候ヲ手ヲ以テ、ハ、ツ、器中況衛ヲス實ヲ刃ニ殺ニ

ナヲ衛ヲ得ヲ闘ヲ毆定擬ル候ヲ手ヲ以テ、ハ、ツ、器中況衛ヲス實ヲ刃ニ殺ニ

ヲ衛ヲ得ヲ闘ヲ毆定擬ル候ヲ手ヲ以テ、ハ、ツ、器中況衛ヲス實ヲ刃ニ殺ニ

ル以ヲ得ヲ闘ヲ毆定擬ル候ヲ手ヲ以テ、ハ、ツ、器中況衛ヲス實ヲ刃ニ殺ニ

ル以ヲ得ヲ闘ヲ毆定擬ル候ヲ手ヲ以テ、ハ、ツ、器中況衛ヲス實ヲ刃ニ殺ニ

者ヲ得ヲ闘ヲ毆定擬ル候ヲ手ヲ以テ、ハ、ツ、器中況衛ヲス實ヲ刃ニ殺ニ

ニ死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

ニ者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

ニ者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

ニ者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

ニ者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

ニ者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

ニ此者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

依ニ此者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

シ、手ニ此者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

懲ヲ依手ニ此者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

役シ、懲ヲ依手ニ此者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

十下シ、懲ヲ依手ニ此者ル量死ヲ、溜ニ致ス頭髮ヲ出ス其景況實ヲ刃ニ殺ニ

理下論苛酷ニ其ニ殺ニ

八年一月十八日指令

西村善八

善八嫌ヲ之ニ侵ヲ入發シ、其發明遣約器械ニ詰ニ、利益多キ

ノ始護横ノ慮ニ善押シ、輒ス、シ、器械ヲ強ト、多問シ、該家ノ

問ヨルヲ遅到ナ八伏輒ス善八械ヲ奪リス衆ヲ突ル者出産

フリノ防惡スク必セ輒尋ヲ捉ケ付、頭ヲ髪ヲ攫ヲ虐

ヘ殺已キ甚ト伊至尋ヲ捉ケ付、頭ヲ髪ヲ攫ヲ虐

キ意ム已キ雖兵急ヲ捉ケ付、頭ヲ髪ヲ攫ヲ虐

ナアヲレヨモ衛迫其妻ニ頭ヲ髪ヲ攫ヲ虐

ン、ル得カリ素ニノ妻ニ頭ヲ髪ヲ攫ヲ虐

ニサ身彼ト病餘ニ頭ヲ髪ヲ攫ヲ虐

ル非ル体カ伊付、頭ヲ髪ヲ攫ヲ虐

ル者ニ財兇兵遂何ヲ髪ヲ攫ヲ虐

者出産虐衛ニノヲ攫ヲ虐

第百七十九條

凡人ト爭論鬪毆ノ言ヒ合ヒシ人ハ來リ出テ臨時殺意ヲ起シテ人ヲ殺スノ者ハ故ニ坐ス若シ爭鬪ノ後仍ホ餘怒ヲ尋キ追逐シ原謀ニ毆テ亦致命重傷ヲ為スニ係ラハ原謀者一度ニ手ヲ下シテ傷人ヲ重セトハ科ス役終身ニ處ス

シテ兇殺又腰立追カケ止メ仕掛テ毆殺シ切殺ス及ヒ爭鬪ニ因ルニ非スト雖モ臨時殺意ヲ起シテ殺ス者預謀ノ顯跡ナキ爭鬪ニ當リ坐ノ出来心ニ謀殺ノ様子ハ人殺シナキ者ハ並ニ故殺ヲ以テ論ス其傷シテ死セサル者上ノ件ニ毆傷ノ附ウ者モ重ヲ分チ輕ク例ナリ仍ホ鬪毆傷ニ依ル

凡人ノ物ヲ以テ人ノ耳鼻及ヒ孔竅中ヘ置キ砂ナドヤ石ヲ耳鼻或ハ鼻等ノ鐵針ヲ附入レ傷ヲ損スル所アル者ハ各鬪毆傷ニ一等ヲ加ヘ罪流三等ニ因テ死ニ致スル者ハ斬。

屏去服食

此條ハ人ノ衣服食ノ物飢寒困難ニ取リ棄テ抔シテ屏去シ若クハ物ヲ服用シ衣服ノ類ヲ飲食スル云ヲ云フ。

ハ紋。若シ故サラニ蛇蝎毒蟲ヲ用ヒ手ヲ蝎ニ誤チ又ハ蜂百足ノ蛇ヲ類遣ヒ人ヲ咬傷セシムル者ハ附咬ミ付カセタリ傷スル者ハ鬪毆傷ニ一等ヲ加ヘ罪流三等ニ止ル。因テ死ニ致ス者ハ斬。

屏去服食條例

第百八十條　凡人ノ服用。飲食ノ物ヲ屏去シ。若ク

ハ。物ヲ以テ。人ノ耳鼻及ヒ孔竅中ニ置キ。因テ死ニ至ル者ハ。絞。改テ懲役終身。若シ謀故ノ情アル者ハ。各本律ニ依ル。（ロモミテ殺スト。出來心ニテ殺スト。故殺ノ律ニ入レアル者ハ。謀殺ト。故殺ノ律ニ仕置スルナリ。）

○熊谷裁判所伺

上野国群馬郡上佐野村農

荒牧藤次郎酒興十月乗ニ一日

美細津善吉曰、当人ハ従来多ク相

七他ヲ他其キ

病ヲ望ミ、私ノ好敵手ニ

疲カニ、同人足ヲ取セ

無之故、先ニ片ヲ合ヒ

置キ、後ニ揉合ヒ倶ニ

倒セ、然ル頭上顛

及腰骨ヲ揉ケ、

加ヘ、逐日快愉ニ赴キ

同十九日死去セリ、

年一月二十四日指令

ナシ、自打撲ニ力ノ因リ、死罪ノ論スルモ可

其諸ノ醜ニ乗シ、相撲俱ニ顛倒シ云

他ヲ競ニ力ノ際ニ至

取ル耳

人命律下

戯殺傷人ヲ

凡戯ニ因テ。人ヲ殺傷スル者。人命ニ関ル程ノ事ヲ。戯ニ殺傷ヲ合ハ。二等ヲ減ス。（真ノ闘殺傷ハ。輕ク論シ。引ヲ合ハ。）

若シ高ニ乗リ。危ヲ履ミ。階ヲ下ヘ。氷ノ上ヲ渉リ。戯レ殺傷スル者ハ。一等ヲ減（用ヒテ。拳ヲ棒ヲ相撲ヲ取ル。）

○敦賀縣伺罪案ノ通、妬心ヲ起シ、髮ヲ取ヘ切ヲ押出相傷ル無五十人ノ民犯役如

右ハ別紙懷ヲ抜テ、他人ヲ殺シ、或ハ毒ヲ食シテ、自殺ヲ欲シ、或ハ中ニ入テ、誤リテ外ノ人ヲ殺ハ。故殺ヲ以テ論ス。傷スル者ハ。仍ホ鬪毆ヲ以テ論ス。

凡鬪毆ノ時。傷解勸ヲ通ル行ヒ。誤テ傷人ヲ合毆ヒタ者。人或ハ抜刀ヲ中ニ毒ヲ入テ。誤リテ他人ヲ殺シ。或ハ飲食ヲ抜刀ヲ中ニ毒ヲ入テ。誤リテ他人ヲ殺シ。故殺ヲ以テ論ス。傷スル者ハ。仍ホ鬪毆ノ本律ヨリハ一段重ク。鬪殺傷ハ罪ガ一等輕キナリ。

誤殺傷人

凡鬪毆シテ。誤テ傷人ヲ殺ス者ハ。其ノ謀殺故殺ニ準ス。

詐稱殺人

凡津河。水深ク泥濘ナル平淺ト詐稱シ。及ヒ橋梁渡船朽漏ナルヲ。牢固ト詐稱シ。人ヲ過渡(橋水ヤ舟渡ヲ泥入)セメ。因テ陷溺(泥水ノ内ノ中ニ落)シ。溺死シ傷ニ致ス者ハ。鬪殺傷

六年八月三十一日指令抜テ。他人ヲ殺シ。或ハ欲食ヲ抜刀ヲ中ニ毒ヲ入テ。誤リテ他人ヲ殺人ヲ傷ル者ハ。本律ニ凡鬪毆シテ。誤テ傷人ヲ殺傷スル云々ニ擬シ、刃傷スル者ハ。以テ懲役二年

鰐石勝之助

○白川縣、兩馬途ヲ行タニ、跡ハ先ノ馬士ヲ来ル馬ヲ士モ亦セリ懸ケタル時、先ツ塘下ニ落テ、死去ス云云伺ニハ馬士、馬諸トモル云ハ六年七月二十二日指令落チ、已ノ道ニ下ル塘ノ踢ヲ他人危険ノ過ント人命ニ至ル必竟牽キ以テ失ヲ因ヘ先キ過ヲ馬死ノ、律依

以テ依ル、断定ス、新頒律條例ヲ

犯罪、改定律前ニ在ル

収贖金三十五圓　大仁田勘十郎

収贖過失殺因ヲ以テ論ス、法ニ命ルノ付ス、

○新治裁判所伺ニテ、死者富藏、贖シテ。其家ニ給付（過失殺傷例圖）

右並ニ罪案ノ通傳左衛門長兵衛三人ニ俱ニ木太刀根ニ擔ヒ、切先ニ足柄ニ蹴ト、中央ニ倒ト、刀ノ鞘ニ蹴居跌ル前ニ當ル者、木太刀ヲ以テ、死ル者ノ人ニ二人ニ重ニ能ハ損ル物壓蹴跌ヲ死ヲ舉ス、同ク舉テ、此ル一者、太刀力ノ察ス、該犯ノ共為ル者ニ、ノ太ニ、

料ニ引キ取上テ。其者ノ家ニ渡ス。

第百八十一條　凡過失殺傷人ノ條例

過失殺傷人ノ、殺傷ト遭ヒ禍ヒ。謂フ平ナラ

外レヨリ生シタル華士族ニ。本圖ノ

民ヲ分ク。一體ニ。

民トハ。官吏。華士族。平

追シテ。其家ニ給ス。

照シ。

數ヘ人タリ、雖然太刀ノ論ヲ以テ、罪ヲ落ツル因ノ及ス物類物トヲ異ル者ノ人ノ誤ル過ツ失ル似ル並ル

目ニ平均シ力ノ重量ヲ二ニ

非ラス、且ツ堪ヘ肩ヲサル

倒カスル、其間三尺余、死者ノ

可カラル救護ノ機偶然ノ

ノ變動ニヨリ、負擔ノ物ヲ

然意外云轉

失落シ、依テ二人ノ過失ヲ以テ至ル論シ、傳左衛門ノ者、壓死ニ本條及ト同例第百八十二條ノ儀ハ、二人ヲ給付シ、追ヒ收贖ヲ、死者ノ例第二百四十八圓ノ宛

七成ヲ俱ヲ牧毛富藏ノ死ニ至ル素ト自取ル

贖罪可申付哉、

年一月二十九日指令

移地界内死屍條例第二百四十日宛

衛門源右衛門左衛門伊右衛門

家ヲ給付シ、清追ヒ收贖ヲ、死者ノ儀ハ、人命律ノ

二條ニ依リ分ル、

擔ヘ轉倒セシ木刀ヲ取ル

蹴躓ニ勢ニテ三人

身自罪ノ論壓死ノ成毛傳左衛門長兵衛門

以テ無罪

私擅ニ埋葬スル

例ハ、検視ノ經ルニ非ス

同

第百八十二條　凡一人。二人ヲ過失殺スル者ハ。例ニ依ル。

同ジ。濟ミ。

照シ。金八十圓ヲ收贖シテ。均シク二人ニ分給シ。二人。一人ヲ過失殺ス者ハ。金四十圓ヲ二人ニ分追取シテ。一人ニ給付ス。一人ヲ傷シ。二人。一人ヲ傷ス者モ。亦此例ニ依ル。

サス、違フ者ハ懲役四十日、戸長タルヲ以テ等外吏ニ準シ、例ニ照シ、贖罪金三圓宛、山田清左衛門ト同ク擬シ、懲役四十日贖ヲ聽ス、

贖罪金三圓

水村源右衛門

○三重縣伺

右ハ縊殺ヲ以テ殺ト論シ難ノ通、妻キン

罪案之畧

定律例ニ見ル夫ノ情狀故ノ

殺ヲ以テ論ジ難ク、其ノ

殺ヲ以テ論ジ難ク、因テ

毆ヲ以テ論ジ難ク、將タ誤

妻ヲ毆ル百二十三條、凡テ改

犯ヲ殺ス死ニ至ル夫ノ

聽ノ妻ヲ毆ル十四ニ云ヲ

七年七月十四日指令

該言

七

懲役終身可申付

哉、奉伺候也、

迫リ、夫ノ帶ヲ暴取リ自己ノ死頸

且ツ、即放時怒、曾離別セシ夫

從セ傲慢ス、戾自ラ死セシノ

聽ノ妻ヲ犯ス

毆死有罪妻妾

凡妻妾。夫ノ祖父母。父母ヲ毆罵スルニ因テ。夫。官ニ告ツケス。擅ニ殺ス者ハ。杖九十。祖父母。父母ノ親ヲ告ルヲ待テ。乃坐ス。若シ夫。罪アル妻妾ヲ毆罵

總テ殺セレバ。其罪ニテ。二人ニ重ケ

如ノ此是非過チ

ハ。

關セル

相違ナ

毆死有罪妻妾

割附及ハリ生シ故ニ。

他ノ收贖ニサ

條トリ

ハ。

ニ巻キ、強テ之ヲ牽カシム事ニ機已ニ遂ヲ得スト其ヲ言ル至ル取ル處ト雖モ、其ニ擬テ、問ヲ出タス登ル時ニ已ニ輙ヲ不應爲

妻死ヤヘルカ故ノ自殺ス止ニフ

妻ヤ毆ラ縊死ニ

ニ

ニ

從

ヲ

ヲ

ヲ

二等。若シ家長。雇人ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スルヿ勿レ。

（召仕ヲ折ルノ男女ハ。體ニ傷ツケザレバ。差撫ヒナキヿ。）折傷以上ハ。凡一人ニ三等ヲ減ス。（並傷セシ人ヲ。折リテヨリ三等。）因テ死ニ至ル者ハ。流一等。故殺スル者ハ。絞。

改正殺雇人律

原殺奴婢律

第百八十四條　凡雇人。死罪ヲ犯スニ。家長。官ニ告ケス。擅ニ殺スヿ者ハ。懲役八十日。（此雇人ハ。綱領ノ奴婢ト。雇人ヲ兼テ云フ。）

第百八十五條　凡家長。雇人ヲ毆チ。死ニ至ル者ハ。流一等。改テ懲役十年。

將屍圖賴

凡祖父母。父母。子孫ヲ故殺シ。及ヒ家長。奴婢ヲ故殺シ

年。三等親以下尊長ハ。各一等ヲ遞減子孫ノ卑幼。若尊長已死スル他人ノ屍ヲ將テ人ニ圖賴スル者ハ。杖八十。又目上ノ關涉

應ハナク。直ニ其官ニ告ル者ハ。誣告律ニ依テ罪ヲ論ス。内ノ言掛ナク。御上告律ニ沙汰ニ依テ捌スレハ。誣因テ財物ヲ詐リ取ル者ハ。贓ニ從テ計ヘ。竊盜ニ準シ。重キ之ヲ科ス。竊財盜ヲ數ヘ罪ニ見引テ。當方ニ重ケレ方ニ當テ。圖賴ナ圖賴ノ罪ヲ定ム。

第百八十六條 凡雇人。已將屍圖賴條例

○新治裁判所伺六年七月十日指令

路頭ニ於テ、犬ヲ鬬ハレメ、因テ同伴人ノ腰刀ヲ借リ持チ、其人ノ刀ヲ貸スヲ者、斬殺スル者及ヒ飼犬ヲ改正本律ニ擬シ、懲戒ナク三十日、例ニ拠ク依、閏刑ニ換、禁錮三十日牧初

死スル家長ノ屍ヲ將ニ人ニ圖賴スル者ハ。懲役百日。

華士族以下ノ屠モシ何事ナキ家長ノ人。死屍ニ持チ出メ。他人ノ者ナ難題ヲ云ヒ掛スル

凡故ナク。弓銃殺傷人。及ヒ劔刃ヲ挺ク者ハ。人ヲ傷セスト雖モ。杖六十。河用子細モナク。妄リニ飛道具ヲ取リ扱ヘバ。人ニ刃物ヲ

牧初ノ従トナシテ論シ、一等ヲ減、禁錮二十日　前澤啓藏

○千葉裁判所伺

右ハ、罪案之書ノ通、従父妹ヲ過失殺スル者ニ付、凡人過失殺以テ論ル事犯改定過ノ例御頒布已前ニ在ルヲ照シ追給スト雖モ、其資金ノ今ノ數ニ滿贈ル可キ者ノ家ニ

○白川縣、人力車夫誤テ人ヲ傷セシ伺、七年十月十日指令

○七年十月五日指令本律第一項ニ依リ、勅奏判以下、凡人ト同處分ス、

○名東縣、人力車夫誤テ人ヲ傷セシ伺、十年十月十日指令

○筑摩縣、馬ニテ人ヲ踏仆シ死ニ致シ、及ト亂毆スル者ノ罪案伺、十年一月十三日指令

○二八共暗夜故ナク街市ニ馬ヲ馳駆シ、過テ人ヲ踏仆シ死ニ致シ、傷ノ輕重ヲ知ラサル者ハ、以先駆本律ノ故意ナク首トナシ、致シ、論シ、因テ人ヲ傷スル者ハ、車馬ニ駆駆シ、因テ人ヲ死ニ致ス者ハ、擬小林亂由兵衛ニ懲役十年ニ処シ、人ヲ毆及故殺シ、傷ノ輕重ニ知ラサル者ハ、懲役九十日

○嗾獟縣惡獸圍所持菜伺
ハ、ル、ニ伏ノシハ右鑑シニ目ヲ置ンル石ヲ込ン
過伏觸銃際栗猥本札傷約印越シト患垣安ミト、
失銃レノ其子ニ犯ハヲシノ潛ニ、葛ナニ置邸
傷者銃機目ヲ他口受受ク内入栗蔓シテシ、内
ヲノ發關印竊人供ケク、ルニル實ヲト彈右栗ノノ
以過シニニ取ノ節居　繩入者ヲ以雖丸場樹小荒
テ失自約心セ邸錄リ但ニリア拾テ伏他所ノ銃ス
論ニラン附ン内ノ不獵觸伏リ、ン目銃ニハ下ニヲ
シ非傷タストニ通申銃レ銃誤ト印ヲ逆四ニ彈防
難ナヲルシス潛傷事免砲機テテニ表飛面伏藥
ク、レ取繩テ、ル入者許發關其垣張セス高銃ヲセ

過失傷ノ科ニ當テ。例圖ニ引合セ。收贖ノ料ヲ出サル家ニ傷受ク。

第百九十條　車馬殺傷人條例

凡深山。曠野。猛獸類（野猪ノ往來スル處ニ於テ。阬穽ヲ穿作シ。及ビ窩弓ヲ安置シ立テサテ。望竿。及ヒ抹眉索ヲ立テサル者ハ。懲役四十日。以テ穽坑ヲ窩弓ヲ以テ印シリ。人ヲ傷キヤ。スル者ハ。鬪毆傷ニ四等ヲ減ス。減シテ本罪ヨリ輕キ者ハ。本罪ニ依テ論シ。死ニ致ス者ハ。懲役三年。仍ホ埋葬金二十五圓ヲ追シテ。死者ノ家ニ給付ス。若シ深山曠野ニ非スシテ。人ヲ殺傷スル者ハ。車馬殺傷人律ニ依ル。山ノ奥。野ノ末ニテ。野猪鹿ノ類ヲ取ハ。人ヲ陷ル穽ニモ窩弓ニテナト殺ス。其ノ目ハ當ケ人ヲ當ラレ立ザレバ。穽

ヲ締ヲ問藥限伺明
五罰獵ト銃ニノ治也、ニテハヒヲ凡、猥ヨ
十則銃贖ヲア通八擬獵止量責猥ニリ山
錢ニヲヲ設ラ過年ン、銃タ情メ、其不間
ヲ依所聽ケス、失二處ヲ官聽不應邸
科リ持シ置傷月斷取ノ贖應邸爲内ノ
ス、品ス免ハ但ヲ十可扱許シ爲内ノニ村
物ル許不シ以八致ヲ可ナノニ伏落
ヲハ鑑應邸テ日哉以ヲ可輕伏銃ト
官銃札爲内論指相テ得然キ銃ニスハ
没砲無ニス令伺違スシ哉ニスル雖
取シ輕ニ裝ル候式ヲ又問

此十附ノ其日律ヲバモモ四ヲ附ル十附ナ機ニモノ
懲日タ掟内トノ四懲内假等頭タナ日ベシ關設ナア
役ヨル棒損同傷等役損令ヲヤレリノキサハケクル
四リ律ナ吐ジ附引八吐バ減タバモ懲理ス知置懲ヲ
十輕ニド血罪ヲバ十血人メル關シ役アレルタ暗知
日ク當ニヨナキヤ日ヤヲ仕箇毆又ヲルバベルキル
ニナレテリリノハナシ傷置條律人申故人キ窩處ベ
科ルバ打以モ四リリム附スヨノタシニヲ様引ナキ
ヲ故四傷下レ十此夫レルレリ傷傷附四傷モノド様

定ルナリ。

第百九十一條　凡窩弓。人ヲ殺ス者。例ニ依リ。罪ヲ科スト雖モ。貧困ニシテ。埋葬金ヲ追スルヿ能ハサレハ。其雇工錢ノ全數ヲ領置シ。食費ヲ除キ。餘ルル所ノ雇錢金二十五圓ニ滿レハ。死者ノ家ニ給シ。仍ホ役限ハ。本法ヲ盡ス。

○愛媛県伊豫国宇和郡平城村、観自在寺覚信曰、当酉一月十八日、久吉浦浅七ナル者病体ニシテ、狐付ノ祈禱ヲ親類ニ依頼シ、赤裸ニナリ、枯松葉ヲ焼キ、其煙ニ親類ニ同道シ、左足ヲ持上ケ、横ニ敷テ、呵責ヲ加ヘ、水仕ヲ一日ニ四度、前同様ニ付ケ、病人困頓セシ所、一夜ニ入置シ、翌朝ニ至テ死ス、

七年二月十七日、狂犯ノ状ヲ発シ、狐憑ル者ト為シ、四体ニ再度、前同様ニ付ケ、病人困頓セシ所、一夜ニ入置シ、翌朝ニ至テ死ス、

七該見驅逐ノ為ニ、狐狸ノ為メ、加持祈禱ニシテ、病者ヲ焚灼シ、其原由ハ最初ノ病症ニ係リ、且薬剤ヲ服スル者ハ、其味ヲ見定メ、或ハ別ニ引合セ、殺ス法ニ依リ、収贖金ヲ申シ渡スニ、其人心ヲ改メ、過ヲ造ル意ニ出テ、一途ニ苦ミ、其家ニ給付シ、医ヲ行フ者ヲ止メ、故ニ本方ニ違ヒ、財物ヲ取

庸医殺傷人

凡庸医、未通ル道ニ、誤リテ本方ニ、夫ス薬ハ病ヲ治スル者ニ、精鍼ニ因テ死ニ致ス者ハ、其人ヲ殺傷シタル者ハ、過失ニ因テ死ニ致シタル者ハ、其家ニ許サス。医者ヲ止メ、本方ニ違ヒ、財物ヲ取ル者ハ、贓ニ計ヘ、竊盗ニ準シテ論ス。

凡庸医、未通ル道ニ、誤リテ本方ニ、夫ス薬ハ病ヲ治スル者ニ、精鍼ニ因テ死ニ致シタル者ハ、其人ヲ殺傷シタル者ハ、過失ニ因テ死ニ致シタル者ハ、其家ニ給付シ、医ヲ行フ者ヲ止メ、故ニ本方ニ違ヒ、財物ヲ取ル者ハ、贓ニ計ヘ、竊盗ニ準シテ論ス。

給付シ、其弊害、宗法ニ由ヲ以テ、

奉職　收贖金三十五圓　覽信

所犯改定律前ニ在ヲ以テ、斷罪依新頒律條ニ照シ、收贖金數ハ舊法ヲ用ヒ

○鹿兒島縣强姦已ニ成リ、婦女蓋忿自盡セシ伺

七年二月二十八日指令

强姦已ニ成リ本婦蓋忿自盡

スル者、奸夫ハ本律姦ヲ行ヒ、因テ人ヲ威逼シテ自死ニ致ス者ヲ以テ論スベシ、

○司法裁判所六年九月三日

中渡

警保大警部國田安賢

其方儀、第六大區六小區在營方宣ル中、本所相生町村上幾次郎方ヘ、强盜押入ル節、遷卒松岡宣勝ヘ二人、捕獲ノ駝付ノ賊ノ拔刀ヲメ恐怖シ、其場立退ク所、宣勝儀、職掌ハ勿論業、如何ニモ不失ヒ、且遷卒一同ノ皷舞モ不相立ヒ、一圖ニ思ヒ込、同僚中村正戶迚彦ノ議談ヲ申聞不顧、小頭瀨山長祥等ヘ申渡ス致說諭ニ、遂ニ宣勝ヘ割腹致ス次第ニ、至ル徵役ニ、右科威逼致死律ニ依立セ、贖罪例ニ照シ、贖罪金二十圓申付ル

因テ人ヲ威逼シテ自死ニ致ス者ハ杖一百。其威逼ノ勢ヒ人別ニ差ノ者ガ公邊ノ御用掛リ或ヒ任セテ

威逼致死

人ヲ殺ス者ハ斬。

前條ニ傷害ノ者ハ全ク誤リテ藥方ニ精通セザルガ故ニ、其藥ヲ取リ、毒藥ニ謀リテ殺ス者ハ、其人ノ病ヲ知ラズシテ、妄ニ藥ヲ與ヘ

仍ホ宣勝埋葬金、割合三圓五十七錢壹厘五毛納ムヘシ、

○福岡縣伺

瘋人ハ、終身鎖錮ニ處シ、埋葬金ノ内、過失傷醫藥資ニ給シ、折半シテ傷人照シ、

若シ姦ヲ行ヒ、盜ヲ爲スニ因テ、人ヲ威逼シテ、自死ニ致ス者ハ、姦ノ成否ヲ論セス。財ノ得否ヲ問ハス。並ニ斬。

罪前件ト同シフナリ。

凡瘋癲人ヲ殺ス者ハ、終身鎖錮シ置クナリ。仍ホ埋葬金二十五兩ヲ追取ルナリ。

死者ノ家ニ給付スシ。

二命以上ヲ連殺スル者ハ、絞。其親屬看守嚴ナラスシテ、他人ヲ殺死スルニ致スト雖モ、杖九十。

若シ瘋癲ヲ假リ、謀故殺傷スル者ハ、

自殺ナドセシムレバ、

斬罪ナリ。皆

瘋癲殺人ヲ

出來ル者モアリ。財ヲ盜ミマザ

姦婦ノ威逼カ盜ニ逼ラレテ。

六例瘋者資輕重ト一人第年右

殘ル金ヲ埋葬ニ給ス、

先般相伺、本文ノ通御指令有之、然ル所、瘋人一人ニ付キ、追例ニ依リ、埋葬ノ費ヲ給スル不至、

瘋人ハ、終身鎖錮シ置クナリ。仍ホ埋葬金二十五兩ヲ追取ルナリ。

死者ノ家ニ給付スシ。

二命以上ヲ連殺スル者ハ、

絞。其親屬看守嚴ナラスシテ、他人ヲ殺死スルニ致スト雖モ、杖九十。

若シ瘋癲ヲ假リ、謀故殺傷スル者ハ、

百八處能沉ル殺ヲ取テシニ令重テ瘋一人ヲ買ヲ殺害シ、廢疾ナル二人ヲ傷スル者ハ、二分ノ圓ヲ與フ、

九月分ハ、死ニ、四ハ、外ニ、三名ニ、二半ニ、名シ、十圓ヲ與フ、

十二御サ死ル者ノ三名ニ、二十圓ヲ與フ、

十二十指ル者ノ一名ニ、二十圓ヲ與フ、

九揮論ノ家一名ニ、二十圓ヲ與フ、

日被下不待給モ不至、

指度候也

依リ、

人命ノ監守スル番人ニ仕出シタレバ、

科カ、ルナリ。

人ヲ殺傷スル者ハ、謀故殺

○福岡縣ヘ達書
昨六年八月七日付ヲ以テ、瘋人殺傷ノ再伺指令、本人ハ傷人ノ明文無之處、伺文ノ趣ニ照シテ別ニ追シ、亦各醫藥ノ資ニ分與スヘシ、但シ瘋人ハ鎖錮終身、若忽然瘋癲ヲ發シ、人ヲ傷ル者ハ、後數月ヲ過ス、傷條平愈ニ照シ、專輕重傷者ヘ醫藥資ノ分二十九百名以上ヲ殺ス者ハ、例ニ依リ、二十五日指令スル

○伺
七年二月二日指令
筑摩縣、瘋癲二名以上ヲ傷ル者ハ、收贖申付、然ル可キ哉、

七瘋癲者處困レ
七年八月二十五日指令
福岡縣伺、瘋癲人殺傷ノ再伺、本人ハ傷人ノ明文無之處、伺文ノ趣ニ照シテ、別ニ追シ、亦各醫藥ノ資ニ分與スヘシ、但シ瘋人ハ鎖錮終身、

○
七年十一月五日指令
筑摩縣伺、瘋癲二名以上ヲ傷ル者ハ、收贖申付、然ル可キ哉、

○
七年十一月五日指令
筑摩縣伺、瘋癲二名以上ヲ傷ル者ハ、收贖申付、然ル可キ哉、

○
本年六月廿八日付ヲ以テ、瘋癲ノ保證ヲ取リ、故免ス可キ、

○
本人ハ傷人ノ明文無之處、伺文ノ趣ニ照シテ、別ニ追シ、亦各醫藥ノ資ニ分與スヘシ、但シ瘋人ハ鎖錮終身、

○
專輕重傷者ヘ醫藥資ノ分二十九百名以上ヲ殺ス者ハ、例ニ依リ、二十五日指令スル

○
配尋問指令ヲ以テ、例ニ依リ、死家ハ二十二分ヲ收贖ス、若シ貧無力ノ者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、但シハ、追徵シテ、收贖ス可キ出ス能ハサル者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、但シハ、追徵シテ、收贖ス可キ出ス能ハサル者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、

○
條例改正ノ前ニ在ル者ハ、依リ、死家ハ二十二分ヲ收贖ス、若シ貧無力ノ者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、

○
律ヲ以テ、瘋癲人殺傷ノ再伺指令、本人ハ傷人ノ明文無之處、伺文ノ趣ニ照シテ、別ニ追シ、亦各醫藥ノ資ニ分與スヘシ、但シ瘋人ハ鎖錮終身、

○
圖輕重傷者ハ、從前ノ過失殺傷ニ依リ、死家ハ二十二分ヲ收贖ス、若シ貧無力ノ者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、但シハ、追徵シテ、收贖ス可キ出ス能ハサル者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、

○
此例ニ照及シ、御處分候致ス事ニ候、

○
五段圖ノ過失殺傷者ハ、從前ノ過失殺傷ニ依リ、死家ハ二十二分ヲ收贖ス、若シ貧無力ノ者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、但シハ、追徵シテ、收贖ス可キ出ス能ハサル者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、

○
三段圖ノ過失殺傷者ハ、從前ノ過失殺傷ニ依リ、死家ハ二十二分ヲ收贖ス、若シ貧無力ノ者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、但シハ、追徵シテ、收贖ス可キ出ス能ハサル者ハ、其幾分ヲ追徵シテ、收贖ス可キ限ニアラス、

○
瘋癲人殺傷ノ儀ニ候哉、

○
瘋癲人殺傷ノ儀ニ候哉、

○
瘋癲人殺傷ノ儀ニ候哉

瘋癲人、三人以上ヲ殺傷スル者ハ、云々、相伺候所、瘋癲人ニ殺傷ス
ル者ハ、御例ニ依ル外、一人、三人、二人以上ニ通ト指令有之、然ル前顕云々
通ヲ了解致兼候條、此段相伺候

七年般十一月五日指令二人以上ヲ殺傷ス
ル者ハ、瘋癲人ニ云々ト有之ニ付、又類推スヘシ、

○先年奈良縣伺ノ通、

八年佑一ノ通、

八、三人以上ヲ殺傷スル者ハ、瘋癲人ニ限リ、其子孫ヲ殺ス者ハ、若シ
期果シテ瘋癲人ニ証ヲ取リ、可ニ放免一旨、親属鄰佑ノ保証ヲ取リ、鎖錮ス
ル者ハ、瘋癲人ニ限リ、其家ニ鎖錮ス
ル者ハ、親属鄰佑ノ保証ヲ取リ、可ニ放免一旨、伺ニ及ヒ
申ス、

第百九十四條　凡瘋癲人。祖父母。父母ヲ殺ス者ハ。鎖錮終身。

第百九十五條　凡瘋癲人。人ヲ殺ス者ハ。鎖錮終身ニ處スト雖モ。若シ果シテ。痊愈（氣ノ全ク快ノ病ヲ）スレハ。親屬鄰佑ノ保証ヲ取リ。懲役五年ニ改正シ。限リ。滿テ放還（役場ヲ郷里ニ置ク）スル。

第百九十六條　凡瘋癲人。自殺ヲ致スニ。看守人。失察（見ハヅセバ。氣狂ヒノ故。番人ニ科ル掛カナリ。）スル者ハ。懲役二十日。若シ人ヲ傷スルニ至ラレムル者ハ。懲役四十日。

第百九十七條　凡瘋癲人。人ヲ殺ス者。孤獨（ヒトリモノ）貧困ニシテ。親屬ノ保管（預リ引取ルモノ）スル者ナケレハ。鎖錮ヲ禁獄ニ換ヘ。（マレ

○飾磨縣伺六年七月十三日指令

人命律

同死ヲ謀リ、本條例ト雖モ、人ニ人ヲ死セサルノ者ハ減スルヲ、傷スルヲ、未タ死セス。姦夫姦婦ハ一等減スルヲ、阻救セサルノ者ハ、一等減ス。

例ニ依リ、鬪毆ニ傷ヲ負ハシメ、鬪毆ニ依リ、刃傷スルヲ、懲役二年ヨリ一等減ス。

懲役一年半西村宗八

醉中ニ同死ヲ促カサレ、商謀スルニ非ス。

○擬諸ト雖モ、俱ニ犯律不應為ニ依リ、雜犯三十日、法ニ依リ、懲役三十日、贖收贖金七十五錢

玉治

○第百九十九條ノ輕重ヲアルトキハ各其傷ノ犯者

滋賀縣伺

驗レ、罪ヲ定メ、假令ハ姦夫ハ篤疾ニ至リ、姦婦ハ癈人ヲ類、姦夫ハ篤疾ニ至リ、姦婦ハ癈疾ニ致スノ律ニ仍リ、姦婦ハ人ヲ篤疾ニ致スノ律ニ仍リ、各一等ヲ減シ、科斷スル候哉、

七年十月二十八日指令伺ノ通、

ノ藥ヲ用ヒ、其身ヲ共ニ死スル者。姦夫ハ。流三等。

謀同死ノ條例

第百九十八條　凡姦夫。姦婦。同ク謀リ。墮胎スルニ。姦婦。身死スル者。姦夫ハ。流三等。改テ懲役三年。

第百九十九條　凡姦夫。姦婦。同死ヲ謀リ。傷スト雖モ。人ニ阻救（刃物杯ヲ取上ル）セラレ。未タ死セサル者ハ。リヘ入レ置ヲ止テ。禁獄スルナリ。埋葬金ヲ追セス。

謀同死

凡姦夫姦婦。同死ヲ商謀スルニ。姦婦已ニ死シ。姦夫未タ死セス。姦夫已ニ死シ。姦婦未タ死セサル者ハ。並ニ流三等。

若シ同ク謀リ。（テムリ押フシ）ク。諸ト（ツモ）ニ相談ナリ。藥ヲ用ヒテ。墮胎（子ヲ墮スナリ）スルニ。姦婦。身死（墮胎）

鬪毆傷（鬪毆律ノ内ニ傷ヲ受ルナリ。）科ニ。一等ヲ減ス。

私和人命

此條ハ。人ノ為ニ殺ル者ニ上ニ訴ヘルヲ云フ。私和ハ。内濟スルヲ云フ。

凡祖父母。父母。及ヒ夫。若クハ家長。人ニ殺サレテ。子孫妻妾。及ヒ奴婢。私和スル者。（上殺サレタル文ニ見ヘタル子孫等ノ内ノ尊長ノ者ハ。）徒三年。二等親ノ尊長。（祖父母ハ。二等ナレバ除キ。其外ノ尊長ナリ。）人ニ殺サレ。私和スル者ハ。徒二年。三等親以下。各一等ヲ遞減（科段ヲ一ツ減ス。）ハ。假令ハ三年半。四等親ハ。徒一年ノ類ナリ。）ス。

尊卑（尊ニ對スル詞。）幼（長ニ對スル詞。）其卑幼ト尊人ニ殺サレテ。尊長私和スル者ハ。各等親ニ依テ。卑幼ノ罪ヲ減（二等親迄。親疎ニ五等親迄。）ニ。一等ヲ減

ヨリテ。罪ヲ一等ヅヽ減殺シ。卑幼ノ者ガ尊長ヲ殺シタル時ハ。總テ一等ヲ減ズルナリ。假令バ二等ノ親ノ卑幼ハ。徒一年半ノ死ニ坐スル如シ。若シ妻妾子孫。及ヒ子孫ノ婦。奴婢。人ニ殺サレ。祖父母。父母。夫。家長。私和スル者ハ。杖八十。（以下。家長ノ近ハ別格ナリ。）財ヲ受ル者ハ。並ニ贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。重キニ從テ。之ヲ科ス。（私和ニ因スルモ。財物ヲ貫キテ卑幼ニ與ヘシ者ハ。贓ヲ計ヘテ。）

ヘテ。竊盜ノ罪ニ引當テ。竊盜ガ重ケレバ。竊盜ノ律。私和ガ重ケレバ。私和ノ律ニ例クナリ。（私和ス。）常人。他人ノ爲メニ。人命ヲ私和スル者ハ。杖六十。財ヲ受ル者ハ。贓ニ計ヘ。枉法ニ準シ。重キニ從テ。之ヲ科ス。

私和人命條例

第二百條　凡家長。人ニ殺サレ。雇人（雇人ヲ雖テ云ヘ。）私和スル者ハ。懲役百日。若シ雇人。人ニ殺サレ。

○宮城縣死シタル産子ヲ黒焼ニシタル者罪業請ケ伺

六年七月二十二日指令

生子ノ黒焼妙藥ナルト赤子ノ胎形殊ニ隠藏勸阻ニ依テ、遂ニ殘忍ヒ属セス、然ルニ情實受ケ、焼テ服用セ、死ニ之ヲ中止ス例第二百一條ト云フヲ殘毀スル者懲役五年

○京都裁判所伺

小刀ヲ以テ、咽喉ヲ突キ自殺仕損シ、傷ハ些少ニ順愈シ三四日ヲ經テ、暴疾ヲ相果ルモノアリ、其

ワ秋藏サ

家長。私和スル者ハ。懲役七十日。

移地界内ノ死屍

凡地界内ニ死屍アル長。地主。鄰佑人。官司ニ申報シ里輙ク他所ニ移シ。及ヒ他所ニ移シ。又ハ殺人ノ死屍アル時ハ。其ノ所ヲ。他ヘ送リ見聞ヲ掛ケ。我ガ地界ヲ行キ居レル屍ヲ。倒レ出ンヲ逃ガレ入ヌト云フ。

理藏スル者ハ。杖七十。水中

事由ヲ届出スシテ、埋葬スルハ、仍ホ官ノ檢視ヲ經サル、云ヒ懲役四十日、贖罪スル可キ哉、且其檢僧セ同罪、閏刑ニ處ス可キ哉、將ニ其死スルハ、病ニ罹ル因ル疎漏ヲ以テ、止タ上申檢査ノ違式輕ノ贖ニ處シ可キ哉、奉レ伺候也、

七年一月七日指令

傷ニ罹リ死ル、依テ死スルニ非ス、他病失スルヲ確レ、果シテ實ナレハ、檢視ヲ經スシテ、理葬ニ罪ヲ科スルノ限リ、

○滋賀縣伺

大分縣ヘ御指令、新條例凡檢屍骸ヲ、官ノ驗ヲ經ルニ係レル、私擅ニ埋葬ス、違フ者ハ、許サス、云々ト相見候、右答

四十、云

棄ル者ハ。杖一百。因私シテ埋藏シ。水ニ棄テ。他所ニ移スニ因テ。衣服ヲ盜取スル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。盜ミ取リ衣服等ハ。贓ニ見積リ。竊盜律ニ引當ル。重キニ從テ論ス。罪。流三等ニ止ル。何程贓物ガ多ク。死罪ニ。ハセヌナリ。

移地界内ノ死屍條例

第二百一條

凡墳塚ヲ發掘シテ。棺槨云外ヲ覆ヒ。内ノ櫬ヲ攫ト

墓塚ヲ掘リ碑ヲ起ス。取除

四十八、違令重ナラシ考候ヘ共、今少シ判然ナラト相認候哉、

七　同　○

年ス、罰文ニ月十四日指令

通

凡官ノ變崎縣死ス、私ニ伺係

若ヲ經ル檀ニ告ニ詐テ埋ル葬者病死ハ檀ニ埋ル屍、官ノ檢ル視者、

七　同　○

年處ル三斷ノ告檀ニ告ニ詐埋ル葬者病死ハ檢ノ視筋ヲヲ以テ經ス、

福ノ通、凡視ヲ變島縣死ス伺係

其ヲ該經ス伺係

置シ、後變死ナ日係ルヲ

人

月可二仕十哉、三日指令

聚實スハ、檢ノ視筋ヲヲ以テ經ス、

重以テ律ト、上ノ檢ル者、

從セテザ

第

二百二條凡地界內

死屍ア水中ニ。

棄ル屍ヲ。

ト雖モ未タ屍ヲ失

輙ク

ハ。懲役三年。屍ヲ殘毀ス。

切リ。或ヒ支ヘ解シ。或ヒ藥ニスルハ為。

ル者ハ。懲役五年。

指云フ。或ハ懲ガ為。

已ニ閉テ。屍ヲ見ハス者

ト見ハス。指ヲ奪フノ為ノ物

者ハ。懲役一年。

在リ。律ニ照シ。全ク衣服ヲ盜ム

ナ者ハ。川堀坏ニ屍ヲ投ジ其儘

等ノ

八　變擅以依　○

ア其犯人、事ノ發露セシ者ハ、上ニ告ヲリ閉キ、自首ヲ以テ上ニ告ル罪ハ、偽ル首ヲ實ヲ以テ上ニ告ル罪ハ、檢尚ホ視スル經ル檢ヲサ、與ヘ、日月セ處ノ一斷ノ例第可二百四條ニ依リ、テ

年處ル斷ノ一月候例第可二百四條ニ依リ、テ

死ニ埋ノ葬者ヲ十七日指令ニ

テ論セ葬ス病死者ヲ十七日指令ニ

テ罪ヲ科ス、例第二百四條實ニ

白川縣死ス伺係ニ

凡變死ス例第二百四條

視ル經ル非ル屍ハ、私擅ニ

埋ル葬ス違フ

者ハ懲役四十日聽サ、官ノ檢ル

葬レ區戶許候節專斷ホ以テ埋ル

照シ以テ埋葬セシム

差ル許ス長ル等モ、仍ヲ此例ニ

處分可然哉、但專斷ヲ以テ埋ル

ハ、全ク

第

二百三條凡子孫ノ死屍ヲ棄ル者ハ。懲役七十日。

為ニテモナク。但我地界ヲ移シ出スヲ為ノミナレバ。懲役百日ノウチ。一等減シテ。九十日ト為ス。一等ヲ減シ。懲役九十日。

第

二百四條凡變死ニ係ル屍ハ。官ノ檢ル視ヲ經ル者ハ。懲役三年。

非レハ。私擅ニ埋葬スル屍ヲ聽サス。

尋常ノ死ナ樣ニテ

○伺八

過誤ニ出テ、追テ自ラ覺ク舉シ、其由官廳ニ届出ルハ、果ニ係累ナ與ヘ可然相伺候ハ、首免ヲ疑フ者ハ、懲役四十日。

自首ノ人、以テ他ニ係ル變死ノ例ニ依レハ、變死ノ例ニ準シ、百日ト御達ス、然ルニ法ニ類スル編ハ、第二百四條ノ第五ノ第一ノ第八ノ人溺死ノ人ハ、二十九日ト定メ、見届ケ出ル者ハ、懲役七十日。

自殺ノ人、繼母ノ殺シタル他人ハ、首ヲ引揚ケ、其ノ屍ヲ置キ、其所ノ役人ハ、直ニ寺院ヘ申渡シ、寺院ヘ可届出ト致シ、其體ハ、最寄ノ輩ヘ埋葬シテ、管轄廳ヘ申告セサル者ハ、例第二百四條ニ依レ、

第二百五條

凡人ヲ押解中途ニ在リテ病斃（死病ニ倒レ）スル者ハ、移地界内ニ。

（附送ル者ト）

役人手許ニテ、直ニ埋葬候八年三月二十三日指令ヲ苦哉、

第二百六條

凡地界内ニ、

役八十日。

死屍律ニ。一等ヲ加ヘ。懲役七十日。

棄去ル者ハ。移地界内ニ。

棄屍ナリ。

及ヒ病ニ因リ、

ル埋葬シテ、管轄廳ヘ申告セサル者ハ、例第二百四條ニ依レ、

ニ分ハ。總テ役人ノ檢視ニ。我ガ私ニ制ス。ル。ヲ受クベキ。違フ者ハ。懲役四十日。

ニ限リ、ハ官ノ死ノ檢ト視ヲモ、經ス、死人所ハ、

右死體ハ、最寄ノ輩ヘ寄ヘ、管轄廳ヘ申告セサル者ハ、

夫ノ段ノ相ノ雇ノ役ノ人ハ、其ノ管ノ轄ノ廳ヘ申告セサル者ハ、

百ノ人ノ見ノ當ノ川ノ岸ヘ出ヘ、所ヘ可届出ト致シ、其ノ體ハ、最寄ノ寺院ヘ出ヘ、所ヘ可届出ト致シ、

倒レ目マイナドシテ行キ倒レル。ス者ハ。懲役七十日。

他所ニ移ス者ハ。

同行知有謀害

凡同伴人。他人ヲ謀害セント欲スルヲ知テ。即チ阻當（キヤウ）救護（キウゴ）セス。及ヒ害セラルヽ

（此條ハ。倶道連。或ハ會社ヲ結ヒ者。或ハ抔ノ内ニ。人ヲ合ヒ謀ヒ者害ヲ申出ル者ヲ云フ。）

鬪毆律

又ヲ以テ鬪毆ストシ傷ヲ成サスト雖モ石槌棒ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成サンヲ以テ論ス

同

搏木切レ等ヲ以テ乱毆シテ人ヲ傷ツケ否ヤヲ知ラサルモノ槌棒等ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成カント云ヒ擬レテ有リ

○兵庫裁判所伺

西人手足ヲ以テ互ニ鬪毆ス

乙内ル甲ノ垣墻木石等ニ因テ衝突ニ鬪毆ス

傷ヲ傍ナスト雖モ瓦論石ニ處シ候以テ毆ツノ三十日ニ及ヒ候哉

槌棒傷ヲ成シ候哉

若シ無傷ナルモ以テ論ス

但鬪毆ノ際自カラ跌蹶シテ傷ヲナスハ科ニ止タ手足ノ鬪毆ヲ以テ人ヲ毆ツ

○七月五日指令

但白川縣伺ノ通、令書共伺ノ通、

○鬪毆律

凡鬪毆手足ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成サヽル者ハ笞二十。傷ヲ成シ及ヒ瓦石槌棒等ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成サヽル者ハ笞三十。傷ヲ成シ及ヒ瓦石槌棒等ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成サヽル者ハ笞三十。傷ヲ成シ及ヒ瓦石槌棒等ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成サヽル者ハ笞三十。

鬪毆此律ハ爭ヲ云フ。打合ヲ云フ。

鬪毆ハ爭論ヲ云フ。忿ヲ生シ足ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲナスヲ云フ。相鬪テ打毆ヲ云フ。相鬪テ打毆スルヲ云フ。

ノ後。官司ニ首告セサル者ハ。杖九十。

同行知有講害條例

第二百七條 凡同行謀害アルヿヲ知テ。阻當救護セスト雖モ。已ニ害セラルヽノ後。首告スル者ハ。其罪ヲ免ス。

其謀殺ヲ阻ムヿヲ出セノ科ヲ免スル。

阻人ヲ知ラ。阻當救護ヲ當ヌ。問ハ救ヲ申セ。救護セ

先後輕重者、或二人共打一人傷同時各一目、或二人同謀以先鬪首為首從若無原謀以謀為首原謀為首從拜類以二人共打一人傷同所、或二人共打一人傷同所、或二人共打一人傷同所、或

ル後ハ、姦事私和ト、同一ニ看做スヘカラス、

○千葉裁判所士族鎮臺兵ニ毆打セラレシ伺

七年十一月二十九日指令

水戸藩政柿内千葉縣ハ、忠徳及ヒ其節族清右者、始末捜索致シ候ハ、警察掛ノ取扱ハ、其裁判所ヘ喚出篤ト詮議シ、其上申口確乎証據有之、鎮臺ヘ合申ス、

○臺兵ニ看守ヲ下スト雖モ、原謀者ハ手ヲ下サス、傷輕ケレハ、一等ヲ減スルトアレ、原謀手ヲ下サス、因テ清律ノ正條ナシ、因テ清律ノ條ヲ査スルニ、同謀共ニ毆ル者ハ、各以テ下手傷重ク人ヲ傷ル者ハ、各以テ下手傷重ク人ヲ傷ル者ハ、各以テ下手傷重ク人ヲ傷

切迫シテ斬ル止マス、意ニ婦ノ念必ズ彼ノ婦ト、認メテ、倉卒斬リ捺ス。

○不七

一、小事ノ他日我ハ他ニ嫁ス。

一、婦ノ断髪ヲ再ビ縁ル。

一、婦ノ支ヘ刀ヲ以テ、婢ヲ指ス。

一、婦ノ負ヒ来ル小刀ヲ託シ、面仕ヲ懐ク。

一、婦ノ警ヲ為ス者ハ、最モ其ノ堪ヘサルヲ知リテ、髪ヲ小瓶ニ入レ、可シ。

一、新治裁判所ニ問ヒ、実断ス、指令ノ応ジ、重ニ月ニ十二日ノ為ニ、十年ノ一月九日ニ乗ジテ、虚盗ヲ以テ論ス、如キハ、公然強奪スルヲ、論ス、盗ヲ以テ論ス、如キハ、但シ、前後ニ

取ル人ヲ強奪ス、正ニ、又ハ、窃盗ヲ以テ、窃盗ヲ以テ、窃盗ヲ以テ

二年ニ擬セシ者ニ即チ律例ニ其傷輕キ者ハ特別ニ以テ疑似ノ傷ヲ論ジ重ノ主旨ニ在リテハ其傷ヲ以テ主ト論ズルヲ以テ用ヒ難キ器ノ主ヲ以テ刃傷ヲ論ジ輕ノ主ヲ以テ刃傷ヲ論ジ重ノ主

サレハ、勿論減等ス、第二條ノ者ハ、已ニ發覺シ、糾問中福島縣伺ニ付免セス、

○鬪毆律五石槍棒等ヲ以テ人ヲ毆チ其成ス傷ハ第二百八條ニ比擬シ、四十成傷ハ第二百八條ニ比擬シ、四十ニテ明了ニ候處、疵一寸以上ニシテ、深サ二三分以上ニシテ、血出シ甚キ者ハ、血耳目中ヨリ出テ、及ヒ内損トアル者ハ、杖八十ニ處斷致シ可然哉、

○本文犯人ハ、全癒マテ、親族ヘ付シ、鎖鋼セシメ可然哉、但本文犯者ハ、全癒マテ、親族ヘ付シ、鎖鋼セシメ可然哉、

八年三月十日指令懲役七十日ニ該ル、依テ之ヲ收贖セシムルノ法、例圖中其項、開載無之ト雖モ、仍ホ一十日ニ、金五十錢ノ數ヲ以テ計算シ、收贖セシメ、傷者ニ給シ可然哉、

○本條但書共伺ノ通、

八年三月十日指令茨城裁判所伺ノ通、

○鬪毆傷ス輕重ニ拘ハラス、刃傷ヲ以テ論スルニ可キ歟果シテ然ラ過失傷モ亦過失殺傷例ニ依リ、刃傷ヲ以テ論シ、給シ收贖金ヲ追シテ傷者ニ給シ可然哉、

八年四月五日指令伺ノ通、

但シ傷輕キ者ハ、情

第二百十一條　凡婦女ヲ毆チ。墮胎セシムル者ハ。懲役二年。

第二百十二條　凡鬪毆。人ヲ殺スニ。後ニ手ヲ下シテ。理直ナル者ハ。律ニ照シテ。懲役十年ニ科シ。仍ホ事情原諒ス可キ十懲役年

ルノ者ナリ。一等下ルナリ。

第二百十三條　凡鬪毆。後ニ手ヲ下シテ。理直ナル者ハ。減等ス。

第二百十四條　凡鬪毆。人ニ科ヲ劃付ル上ニ。事柄原諒ス可キアレバナリ。

狀ヲ酌量シテ減等スヲ可シ、

○佐賀裁判所伺八年四月二十八日指令

婦女ノ鬪毆ハ、刃傷ト雖モ、收贖ヲ聽ス、但書鎌刀菜刀傷ノ區別ナク、本文ノ通心得可シ、

○滋賀縣伺宮殿內忿爭スル者、律ニ正條ノ有ル之候ヘ共、省察府縣ノ正條ナ無ル之、今茲ニ中教院內ニテ、忿爭スルノ正條無ル之、相毆ツ者アリ、律ニ正條ナ無ル之ニ付、凡毆ヲ以テ論シ可ル哉、然ル之ニ付、凡毆ヲ以テ論シ可ル哉、

八年三月二十八日指令

伺ノ通、但シ官吏ヤレハ、官吏ヲ毆ツ律ニ依ル、

ヲ傷スルニ。鎌刀。菜刀等ヲ用ヒ。傷輕キ者ハ。懲役七十日。仍ホ輕キ者ハ。三等ヲ減ス。

宮殿內忿爭

凡宮殿內ニ於テ。忿爭スル者ハ。笞五十。相毆ツ者ハ。杖一百。折傷以上ハ。凡鬪傷（常尋ノ打合ハス捉。疵）ニ。二等ヲ加フ。罪。流三等ニ止ル。刀（抜刀）ヲ以テ相向フ者ハ。流一等。

宮殿內忿爭條例

第二百十五條　凡皇城門ニ。擅（御用セナキニ。妄）入（リニ入ルナリ。）スル者ハ。懲役五十日。宮殿ニ擅入スル者ハ。懲役百日

宮中ニ。自儘ニ入ル者ハ。百日ノ懲役ナリ。入ラ後チ何事ヲ仕出セバ。又別ノ箇條ノ科ナリ。但タ入ル斗リハ此ノ本屬長官ノ

凡吏卒軍民本屬ノ勅任長官ヲ毆ツ者ハ。流一等。傷スル者ハ。流三等。折傷以上ハ。絞。其長官ニ非ル。勅任官ヲ毆ツ者ハ。徒二年半。傷スル者ハ。流一等。折傷以上ハ。流三等。癈疾ハ。絞。

若シ奏任長官ヲ毆ツ者ハ。徒二年。傷スル者ハ。徒三年。折傷以上ハ。流二等。癈疾ハ。絞。其長官ニ非ル。奏任官ヲ

毆ツ者ハ。徒一年。傷スル者ハ。徒二年。折傷以上ハ。流一等。癈疾ハ。流二等。篤疾ハ。絞。

若シ判任長官ヲ毆ツ者ハ。杖九十。傷スル者ハ。徒一年。折傷以上ハ。徒三年。癈疾ハ。流一等。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。並ニ斬。

其本屬ニ非ル者ハ。各二等ヲ減ス。減シテ。罪。凡鬪ヨリ輕ク。若クハ等シキ者ハ。凡

○長野縣伺例云々第二百三十七條、凡平民ノ闘ニ、罵リ足ラザルノ罪者ハ、笞二十ヲ毆ル者ハ、懲役九日ヲ指令毆ル者ハ、重ク成ス、

○平民年三十九日ヲ長ヲ加ヘ、遷ル者ハ、折傷ヲ以テ論ス、

○毆ル者ハ、本戸籍ヲ再ビ以テ毆ル者ハ、懲役三年ヲ加ヘ、遷ル者ハ、傷ヲ以テ加ヘ、遷ル者ハ、傷ヲ以テ論ス、

○凡闘ニ、一等ヲ加ヘ、加ヘテ死ニ入ル。

毆官吏律

原毆本屬長官律

第二百十六條　凡勅任官ヲ毆ル者ハ。懲役五年。傷スル者ハ。懲役十年。折傷以上ハ。絞。

若シ奏任官ヲ毆ル者ハ。懲役二年。傷スル者ハ。懲役三年。折傷已上ハ。懲役七年。癈疾ハ。絞。若シ判任官ヲ毆ル者ハ。懲役九十日。傷スル者ハ。懲役一年。折傷以上ハ。懲役三年。癈疾ハ。懲役五年。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。並ニ斬。（勅任ニテモ奏任ニテモ同シ斬罪ト云フナリ）

毆官吏條例

第二百十七條　凡判任官。勅任官ヲ毆ル者ハ。懲役九十日。傷スル者ハ懲役

テ左ニ記載ノ通リ、改定候條、此段更ニ及御達候也、

遷卒番人ヲ毆ル者ハ、凡人ニ二等ヲ加フ、折傷以上ハ凡闘毆ヲ以テ論ス、

一年半。折傷以上ハ。懲役五年。癈疾ハ。絞。若シ奏任官ヲ毆ツ者ハ。懲役七十日。傷スル者ハ。懲役百日。折傷以上ハ。懲役三年。癈疾ハ。懲役十年。篤疾ハ。絞死ニ至ル者ハ。並ニ。斬

第二百十八條　凡奏任官。勅任官ヲ毆ツ者ハ判任官。奏任官ヲ毆ツ。罪同シ。其勅任官。奏任官ヲ毆

チ。及ト奏任官。判任官ヲ毆ツ者ハ。並ニ。凡鬪毆ヲ以テ論ス。勅任モ。奏任モ。並ニ凡人ノ鬪毆律ニ。當テ科ヲ定ム。

拒毆官司差人

此條ハ。官ヨリ遣スニ手向ヒ。又ハ打擲スルヲ云フ。

凡官司。人ヲ所屬ニ差遣シ。夫々ノ支配役所ヘ差遣ス。錢粮人ヲ支配下ヲ追徵シ。年貢運上ヲ取立ル公事ニ勾攝スルニ。抗拒シテ服セ

○大分縣伺文武技藝受業師ノ教戒ノ為ニ督責スルニ其弟子ヲ毆チ殺シ及ヒ其財物ヲ盜ムトキハ師ハ凡人ニ比シ又以謀故殺ヲ論シ其為ニ人ヲ毆ル者ハ凡人ニ及ヒ二等ヲ加ヘ死ニ致ス者ハ各律ニ依リ可然儀ニ候哉、

六十。毆ッ者（其遺ヲ毆タリ。）ハ。杖八十。内損己上（臓腑ヲ血ヲ疾ル）ハ。各凡闘傷ニ。二等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。死ニ至ル者ハ。斬。

毆受業師ヲ

此條ハ。師匠ヲ打ツヲ云フ。

凡文武百工技藝ノ人。（文事武事。）受業師ヲ毆ッ者ハ。凡闘傷（師弟間柄ノ）

七年十二月二十七日指令ヲ以テ毆ル者ハ。其弟子ヲ非理ニ受業師ヲ打ヒ及ヒ謀殺ハ。凡人ヲ論シ財物ヲ盜メハ。弟子ノ罪同シ。其師ノ財物ヲ盜ムトキハ。其師ヲ毆傷スル者ハ。凡人ト同シ。其弟子ノ為ニ師ヲ毆殺ハ。凡人ト同シ。本律ニ依ル。謀故殺ハ。論ス。

○大坂裁判所伺

若シ授業師ノ従弟ヲ罵詈傷シ。或ハ徒弟ノ財物ヲ盜ム者等ハ。如何處シ可然哉、

八年一月二十八日指令

授業師。其弟子ヲ罵ル者ハ。論スル勿レ。但シ弟子教令ニ因リ。毆責シテ殺ス。違犯スルニ因リ。毆責シテ傷スル者ハ。口書ヲ以テ伺出ヘシ、

毆受業師條例

第二百十九條　凡受業師ヲ毆テ。死ニ至ル者ハ。斬。

改テ。懲役終身。

一

謀殺ニ。故殺ニ。打合ヲ云フ。二等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。死ニ至ル者ハ。斬。

尋常ノ打ツキ。

科ナリ。

毆ッ者ハ。心得違ヒタモノ。思ヒ當ラズ。急所等ニ。打ツモ。殺ス。意ニ。死セシム。

○愛知縣兵庫太郎
兼ネテ共ニ大龍寺ノ
舞者ノ手伝ヒ
喜ビ踊リ
取扱ヒ
相ヒ
黙ス
ト
不
樂
ニ
ヲ
ニ
威
ヲ
ニ
付
ト
同
儀
同
小人ハ糾同責シテモ堪ヘ快云底尋舞候ノヨ共ニ亡ル年ニ月衣事龍始
異弟全シ十問掾打呼ヘテノフノ候ヲ事手リ大亡伺野父神段有私所所宅之ニ卸村ニ當テシ相太郎
ニ中ノ候三候ヨ擲来ス殺節狐
付野無得日ヘリシリ弟害モニニ同
畧伊之ハ十共蹴或兩伊セ黙テ養村
之吉旨終四白落ハ人吉シ底亡ハ齊招一金ニ馬郎
罪明ニ日狀シ刀ヲ申由ト父ル年キ月衣事龍始
案白毒モ不抔物縛合申謀亡寺其十等寄海一
ハ及殺同致手ニシ默立リ弟玉鷄始ニ被セ妻家
大候フ様ニ荒テ拳底慣毒共勝足末日欺種喜ノ

威力制縛

凡威力ヲ以テ人ヲ制縛スルニ此條ハ。總テ公ノ事ヲ受ケ或ハ私ノ關係ヲ以テ。人ヲ制縛シ。及ヒ監禁シ。打問ハ。並ニ杖一百。折傷ハ。打ナ。拄ル。一グ。

威力ヲ以テ人ヲ制縛スルニ。總テ公ノ事ヲ受ケ或ハ私ノ關係ヲ以テ。人ヲ制縛シ。及ヒ監禁シ。打問ハ。並ニ杖一百。折傷ハ。打ナ。拄ル。一グ。

威勢ヲ。打ツ人ヲ。威嚇シ。抔ヲ。縄ニ。捌ハ。總テ。掛ケ。受ケ。或ハ。公ニ。制縛ス。力ヲ。任セテ。威勢ヲ。強ル。力ヲ。云ハ。

六年七月三十日指令府官威力ヲ以テ事ヲ擅ニ、制縛スル之故ニ百ヲ笞ニ打ツ。

日、不ヲ。應ヲ。為ヲ。ノ。贖ノ。罪金二圓廿五錢

同上從一等ヲ減ジ贖罪金一圓五十錢

中野伊吉

中野新吉

凡鬬傷ハ。折リ。聆ニ。目ヲ。以上ハ。各。二等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。死ニ致ス。

指ヲ折リ。一目ヲ。以上ハ。各。二等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。死ニ致ス。

打尋常類ヒノ合ニ。

若シ。威力ヲ以テ。他人ヲ指シ。使シ。人ヲ毆打セシメ。死ニ致ス。傷ニ。死ス程ノ傷ハ。首ト。為シ。下手ノ人ハ。從ト。為シテ論シ。一等ヲ減ス。

死ヲ程ノ傷ハ。者ハ。並ニ指使人ヲ以テ。死ス程ノ疵負ハシ者ハ。絞。

疵ル負ハ。者ハ。有リ傷ト。無リ傷ト。負ハシ。

我ノ内ガ屋ニ拷ハ。

○大分縣伺ノ戸籍届未済雇人、又ハ職業ノ為メ、無税ニテ使用スル者、毆ニ雇主ヲ、又ハ罵ニ雇主ヲ片ハ、右ノ権衡ニ論セス、家長ヨリ、届不届ヲ律科シ、雇主ハ僕毆罵スル婢罰則、及ヒ違式ニ区処仕可レ然哉、

八年一月九日指令

○伺ノ通、磐前縣伺

磐城國行方郡小島田村石井市三郎儀、別紙罪案之書ノ條、妻ト見做レ候ヘハ、五年ノ懲役終身、妻ト見做セハ、懲役十年、又雇人ト見做レ候得ハ、懲役七年ニ付テハ、輕キ方ニ依リ、決シ兼候ヘハ、妻ヲ離別ス、

八年以テ論ス可レ然哉、

第二百二十一條、雇人家長

井市三郎儀、別紙罪案之書ノ條、妻ト見做セハ、五年ノ懲役終身、妻ト見做レ候ヘハ、十年ニ相当リ、決シ兼候得ハ、懲役七十日ニ付テハ、輕キ方ニ依リ、妻ヲ離別ス、

八年以テ論ス可レ然哉、

第二百二十一條、雇人家長ヲ毆ツ者ハ。皆流三等。傷スル者ハ。皆絞。死ニ至ル者ハ。斬。過失殺傷スル者ハ。各常律ニ依テ。收贖スルヿヲ聽ス。

若シ奴婢。雇人。家長ノ教令ニ違犯スルニ。督責シ。擬シ。致スニ死ニ至ル者ハ。徒三年。傷スル者ハ。徒三年。過失殺スル者ハ。流三等。徒流並ニ收贖スルヿヲ聽サス。何レモ金ハ開届ケヌナリ。

毆家長ヲ

此條ハ。已ヲ召使ヲ主人ヲ打ヲ云。

凡奴婢。家長ヲ毆ツ者ハ。皆流一等。傷スル者ハ。皆流三等。折傷スル者ハ。皆絞。死ニ至ル者ハ。皆斬。過失取扱ヒ違ヘ。

若シ雇人。家長ヲ毆ツ者ハ。

教令ニ違犯スルニ、督責シ、擬シ、致スニ死ニ至ル者ハ。石井市三郎ノ犯ケサヲ容ル、初メ洗濯手傳ヒヲ以テ、後ニ妻ト成ヲリ、雖モ、未タ公然其儀ヲ成スニ非ルヲ以テ、本ノ如シ、

懲役七十日ニ付テハ、輕キ方ニ依リ、決シ兼候ヘハ、懲役七年ニ付テハ、輕キ方ニ依リ、妻ヲ離別ス、

徒二年。傷スル者ハ。徒三年。折傷スル者ハ。流三等。篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。過失殺傷スル者ハ。各常律（過失殺傷律ノ）ニ依テ。收贖スルヿヲ聽ス。

若シ奴婢。雇人。家長ノ教令ニ違犯（差図背ク）スルニ。督責（叱リ正シテ）。邂逅（ヨツト）ニ死ニ致ス者ハ。笞五十。過失殺スル者ハ。各論スルヿ勿レ。（此條ハ。家

○滋賀縣伺

妻、夫ヲ毆チ、夫、妻ヲ毆チ、折傷已上ニ至ル者、及ヒ子孫ヲ待テ違教等ノ、親ヲ告ルヲ後ノ忍請フレ、其已ニ告ル者、其已ニ告ルヲ親屬ノ至情坐視スルヲ免サンコトヲ請ヒス、罪ヲ刑名宣告ノ後ナレ、氏、已ニ刑名宣告ノ後ナレ、其請ヲ聽サス、未タ處刑セサル內ナレハ、其儘故免シテ可然哉、

七年七月九日指令

兩項共、親屬ヨリ情願スルモ、其罪ヲ聽サス、

○熊谷裁判所伺

妻ウタ性質邪險常々喧嘩口論ニ及ヒ云々、某月口論ニテ罵リ剩ヘ拳ヲ以テ任セテ頭上ヲ打擲セシニ付、聊私威サンヲ為ニ小刀ヲ以テ少々疵負ハセシ處殺セタク相逼リシ故平生ノ憤怒

毆夫ヲ

凡妻。夫ヲ毆ツ者ハ。杖一百。折傷以上ハ。凡鬪傷ニ。三等加フ夫ノ親ヲ告ルヲ待テ。乃坐スル夫ヲ。上ニテ訴ヘタル罪シ。夫訴ヘ置クヘカラサレハ。搶篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。故殺ハ。出來心ニスル者ハ。梟。

若シ妾。夫及ヒ正妻。本妻ヲ毆ツ者ハ。妻。夫ヲ毆ツ罪ニ。各

此條ハ。夫ヲ打ツヲ云。

長奴婢ヤ。雇人ヲ毆ツ。ノ次第ヲ云フナリ。

毆家長條例

第二百二十條　凡雇人。家長ヲ毆チ。篤疾。及ヒ死ニ至ル者ハ。絞斬ニ處スル律ヲ改メ。俱ニ懲役終身。

第二百二十一條　凡雇人。家長ノ教令ニ違犯スル。督責シテ。邂逅ニ。死ニ致ス者ハ。笞五十。改テ。懲役七十日。

一時ニ發シ忽然殺意ヲ起シ遂ニ突殺セリ。

七年犯ノ一月三十一日指令供狀ニ謂ハ、忽然殺意ヲ起シ故意ニ相違シ生害スルヤ、文ア妻言ヲ罵ル令ニ所ノ頭上ヲ毆ク、犯スト雖モ、罵詈ヲ愚暴ヲ恣ニ剩ヘ仍ホ拳ヲ自ラ擲ナスル者ハ。梟。

第二百二十二條　凡妻妾。夫ヲ毆テ。廢篤疾ニ至ル者ハ。絞ニ入ル、律ヲ改メ。俱ニ。懲役終身。妾ノ正妻ヲ毆ツ者モ。亦同シ。

一等ヲ加ヘ。加ヘテ死ニ入ル。（加擬ナスレド。是ハ死罪ニセナリ。）死ニ至ル者ハ。斬。故殺スル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同シ。改テ懲役終身トスルナリ。妾ノ本妻ヲ毆テ。篤疾ニスル者モ。同ジ科ナリ。

毆傷妻妾

此條ハ。夫ノ妻妾ヲ打チ。痕ヲ負ハスル等ノヿヲ云。

凡夫。妻ヲ毆ツハ。折傷ニ非ル。論スルヿ勿レ。（外メナリ。）折傷以上ハ。凡人（他人同志。打ツ罪。）ニ。二等ヲ減ス。妻ノ自ラ告ルヲ待テ。乃坐ス。死ニ至ル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同

○瑯縣當縣士族某夫ヲ罵リ、夫ヲ毆ツノ妻、刃ヲ以テ迫ルヲ救防シ、誤テ之ヲ刺シ、避ケ遁ヒ死ニ致スト雖モ、科如何。

六年九月十四日指令

本條、夫妻若シ妻ヲ毆傷スルト雖モ、夫妻妾ヲ毆傷スル者ハ、各論罪同云々、過失殺スルヿ勿レト云ヲ以テ掠原政道擬シ、

○福岡縣伺

無罪

夫、妻、妾ヲ凌虐毆傷スルニ不道ヲ以テ待ツ者、妻妾親族等、其ハ、告セスト雖モ、捕亡番人ヲ臨ミ目擊報告スルヲ待テ、乃坐ス。死ニ至ル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同

假令其場折傷以上ニ非ル、場ニ臨ミ目擊報告スルヲ待テ、乃坐ス。死ニ至ル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同

凌虐ノ罪ヲ科シ可レ然哉、

七年五月二十日指令本律ハ折傷以上ハ凌虐妻妾ノ律ナレハ勿論ナレ若シ捕亡番人等其場ニハ立入ラ鎮静教戒シテ止タルトキハ閣クヘシ

○同縣前件ノ再伺

夫ノ凌虐妻妾ヲ毆傷スル者ハ道路ニ置方有之候ヤ然ル儀ニ当リ五月廿日御指令ノ通ニ本年大坂裁判風聞所ノ伺ノ趣ニ信ヲ以テ令ニ人ニ妻ヲ毆傷ノ親告ニ非サルノ者ハ流言罪ニ不問ト聴ヲ信ス

妻ヲ毆ツニ。折傷以上ハ。妻ヲ毆傷スルニ。二等ヲ減ス。死ニ至ル者ハ。流一等。

若シ妻。妾ヲ毆傷スルハ。夫妻ヲ毆傷スルト。罪同。妾ノ親ヲ告ルヲ待テ。乃坐ス。過失殺スル者ハ。各〔夫ノ妻妾ヲ過失殺スルト。妻ノ妾ヲ過失殺スルトナリ。〕論スル勿レ。

若シ夫。妻ノ父母ヲ毆ツ者ハ。杖九十。折傷以上ハ。各凡

七年六月二十四日指令本律ハ折傷以上ハ凌虐妻妾ノ親ニ非ルハ勿論ナレ

上ハ傷ノ輕重ニ據リ、罪ヲ左ノ科スレハ、ハ、ニ有之間數、罪ヲ減シ、ハ、御指令前後矛盾又ハ疑ヒ無キ不能仍テ尚此段相伺候也

夫妻ヲ毆ツ、折傷以上ハ論ノ勿レ、折傷以上ハ乃坐ス

妻ノ夫ヲ毆ツ、大坂裁判所伺ノ趣ニ信ヲ以テ論ハ、輕ク

妻ノ夫ヲ毆ツ、大坂裁判所伺ノ趣ニ信ヲ以テ論ハ、輕ク

本律ハ夫妻ヲ毆ツ、折傷以上ハ、論ノ勿レ、折傷以上ハ乃坐ス

非レ云々、妻ハ夫ヲ毆ツト云フ、或ハ夫婦ノ家ノ下急ニ起スヲ可キ者ニハ、

他人ノ舌ヲ保ツ等閑ニ門ノ凡親ノ告ヲ待テ乃チ坐ス

尋常ノ故ニ云フ、妻ハ夫ヲ毆ツ、大坂裁判所伺ノ趣ニ信ヲ以テ論ハ、輕ク

其夫婦ノ情ヲ聽ス、不應為輕ク

妻ノ夫ヲ毆ツ、大坂裁判所伺ノ趣ニ信ヲ以テ論ハ、輕ク

妻ノ夫ヲ毆ツ、大坂裁判所伺ノ趣ニ信ヲ以テ論ハ、輕ク

争ヲ量リ、不應為輕ク

争ヲ量リ、不應為輕ク

争ヲ量リ、不應為

○小田縣伺

五等親中卑幼尊長ノ毆ツ如キ僅ニ年罪モ再祖父母兄姉ニ曾孫ツ

類假令其高ハ四等親ノ毆ル者ハ長ノ再從弟妹ヲ毆レ

七高ニ孫八例ヲ伺從

更幼毆ラ

尊ツ長如キ

權衡ヲ以テ論ジ

○伺

本條中、縣伺ス等親尊長ノ儀ハ以テ賀論ス

第二百二十四條　凡卑幼。三等親以下尊長ヲ毆ル者ハ。斬。

毆三等親以下尊長

凡卑幼。三等親ノ尊長ヲ毆ツ者ハ。徒一年。四等親ノ尊長ハ。杖一百。折傷以上ハ。凡鬪傷ニ一等ヲ遞加ス。他人ヨリ増ス篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。故殺スル者モ。罪同シ。若シ尊長。卑幼ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スル勿レ。折傷以上ハ五等親ノ卑幼

○伺

不相見偶處。毆傷妻妾條中、夫ノ父母ヲ毆ツ者ハ。杖九十。妻ノ父母ヲ毆ツ者ハ。杖一百。云々。其外不相見。舅姑ノ類ハ。子。姑ノ子ヲ毆ツハ。年齢ニ依リ。尊卑ノ區別無之候哉。

白川縣伺

通、年月十四日指令

凡人鬪毆者ハ。本條第七項ニ云々。後手下ニ至リ死ニ及ヒ毆兄者。不減。且頭書ニ概ス。大抵律等ニ集成ハ。其文ヲ之親ニ依テ清律集成ハ。若因鬪毆律ニ云々。後手下ニ理直ナル者ハ。減ス。理直ナル者ハ。減ス。本律等ニ依テ定ル。

註理直下手

兄姉伯叔不減。其餘大功以下皆減也。此兄姉伯叔ハ。凡一人ニ一等ヲ減シ。四等三等親ハ。各一等ヲ遞減ス。死ニ至ル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同。

跡ノ残ル程ノ傷ナキ疾ハ。名ノ殘スレナシ。折傷。五等親ノ篤疾。幼ヲニ段科ヲ毆ツ輕ク。他人ヨリ。四等三等ノ一段々ヲ減ス。一段ヲ順グリ。卑ノ篤ネルナリ。

伺八
ノ年此段奉伺候也、
十月
十五日
指令

叔ハ仍指期親尊長、而言、蓋因、倫理ノ所ニ關ル各依ニ本律ニ不ル准ニ減ニ等ノ也ト有レ之、就テハ綱領五歐准ノ等ノ親圖ト中ニ二等ノ者ハ概レ右ノ減尊長ノ等以下ノ准ノ減ニ等ノ也ト

法ヘ法ヘ情上但等ス、尊異父祖雖サツ等ス者ハ、將ハ、概レ右ノ減尊長ノ等以下ノ准ノ減ニ等ノ也ト

法キヲ尤ノ二ヲ其長ナ母父モ、曾祖ヲ又三等ノ減尊長ノ等以下ノ准ノ減ニ等ノ也ト

酌用憫尊等與餘ニルヲ母繼祖父母高母祖父母外夫ノ祖ノ准ノ減ニ等ノ也ト

量ヲ諒長親ヘ、ハ準ヲ毆父父母他祖父母外祖ノ准ノ減ニ等ノ也ト

論其ヘスヲ以如凡比以ツ父ハ、仍ホノ尊屬ノ准ノ減ニ等ノ也ト

罪キヘ毆下、何人レテ、減ホ均等シヲ二等ノ准ノ減ニ等ノ也ト

儀ヲ者クツ外可ト有レ之均シク、減

ト科ハシト祖母雖父母以

存斷仍テ、輕モ、事

候致ホ情減

條ス

三等親ノ尊長ヲ毆チ。篤疾ハ。絞。改テ。懲役終身。死ニ至ル者ハ。斬。改テ。絞。其故殺スル者ハ。斬。若シ尊長。三等親以下ノ卑幼ヲ毆チ。死ニ至ル者ハ。絞。亦改テ。懲役終身。其故殺スル者ハ。絞。

第二百二十五條　凡卑幼。三等親以下ノ尊長ヲ過失殺傷スル者ハ。並ニ凡

○白川縣伺罪案節録

第久平儀生来心得方惡レ
長キヲ以テ、私ハ勿論、親類組
等モ、每度教諭スレ
入レス、壬申五月野馬ヲ盜
故、馬ハ元ニ放チ當人ヲ
ハ嚴レタ戒セシ所、尚ホ
同十二月烟草ヲ盜取セ
ニ付、烟草ハ事主ニ還シ、而
メ隣家矢野幸四郎ト、両人
ニテ折檻セシ末、私拳ニテ

人過失殺傷ヲ以テ論シ。收贖スルヿヲ聽ス。

三等親以下ノ尊長ヲ過チテ殺シ。過チテ傷ツケレバ。尋常ノ過失殺傷例圖ニ。引合セテ贖ヒ料ニテ濟スナリ。

毆二等親尊長ヲ

凡弟妹。兄姊ヲ毆ツ者ハ。徒二年。傷スル者ハ。徒二年半。折傷スル者ハ。流二等。廢疾ニ至ル者ハ。流三等。篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。

打倒シ縛セシ所、本人自殺セシ故、活置カハ、御難題者申スニ付、存念通リ殺ヘ、サシ存ヘト、刈鎌ヲ鍬ニ所テ首連行キ、窪堀ヲ懸ケ切ト、右ノ鎌ヲ墓ニ候ヲ、皮肉ヲ埋メ、咽ニ残リ、即死ハ、祖父母ノ故、

六久平年八月二十日指令

在ニ付、相談致サス候

申ス出ル、尤其節父久五郎不

乎傳ヒ死遂サセシ果サル

久平悔悟自殺死果サル

セシヲ、窪ニ埋メ、組長ヘ

本決ニ輕ス、又久之血肉ヲ視ル如シ、祖父ヲ辱ム、其義憤官

以條、兄姉弟妹ヲ因原殺ス、依テ論ン

出煩ハシ、而其擧久平自ラ死ヲ

ノ言ニ

ノ情ニ

ノ父ニ

ノ犯罪、未タ死ニ至ラス、

ノ人命ニ

ノ殺死ス、

ノ者

毆ル者ハ。皆梟。故殺スル者ハ。皆斬。若シ姪。伯叔父姑ヲ毆チ。及外孫。（女ノ生メル子。嫁シテ。）外祖父母ノ祖父母ノ方ヲ毆ツハ。各一等ヲ加フ。癈疾以上ハ。兄姉ヲ毆ツト。罪同。其過失殺傷スル者ハ。各本殺傷罪ニ。二等ヲ減シ。收贖スルヲ聽サス。兄姉及ビ伯叔父姑。外祖父母ヲモ過チテ殺シ。過チテ傷ツケタンハ。前ニ見ヘタル毆傷殺ノ科

懲役三年。矢野惣三郎

○京都裁判所伺

祖父母父母及二等親尊長ニ過失殺傷ノ文ハ、律例ニ相見ヘ候ヘ、共誤殺傷スル項、正條ニ無之、右ハ誤殺ノ條、鬪毆シテ誤テ傍ヲ殺人傷スル者ハ、鬪毆傷ニ止ル、三等ニ流罪ニ準シテ論シ、云ヘ依リ、祖父母ヲ擬ト雖モ、懲役十年ニ擬シテ可然哉

七鬪ヲ毆ハ年三月十七日指令

○懲役三年。高知縣伺

毆傷スル者ハ、懲役終身、謀殺ニ因リ、誤テ祖父母ヲ殺ス者ハ、故殺祖父母ヲ以テ論ス、

毆傷ニ依リ、傷ヲ

○高知縣管下、吾川郡第九區森山村農鶴澤曾内儀、兄鶴澤忠次ト忽然爭論ノ末、劍刀

ヨリ二段ヲ減シテ。（分メ申附テ。贖ヒ料ハ闕届ナケヌ。）

若シ兄姉。弟妹ヲ毆殺シ。伯叔父姑。姪ヲ毆殺シ。外祖父母。外孫ヲ毆殺スル者ハ。徒三年。故殺スル者ハ。流二等。過失殺スル者ハ。各論スルヿ勿レ。

毆二等親尊長ノ條例

第二百二十六條　凡卑幼。二等親ノ尊長。及ヒ外祖

七兄仍姉

條ヲ以、兄ニ傷ヲ為スヲ以本該ニ半ハ他物ハ曾無之、雖曾無之、近令場合、白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

ニ擬シ、懲役二年半ニ他物ハ曾無之、雖曾無之、近令場合、白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

内ヲ以候傷處、條中ヲ為スヲ以、刎刀ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

然リ、條ヲ以、兄ニ傷ヲ為スヲ以本該ニ半ハ他物ハ曾無之、雖曾無之、近令場合、白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

隣ニ擬シ、懲役二年半ニ他物ハ曾無之、雖曾無之、近令場合、白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

驅集、忠次死事理重大ニ有之哉ト審之、相

内ヲ以候傷處、條中ヲ為スヲ以、刎刀ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

然白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

隣驅集、忠次死事理重大ニ有之哉ト審之、相

疑之、右刑科輕重可有之哉ト審之、相

内ヲ以候傷處、條中ヲ為スヲ以、刎刀ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

然白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

隣驅集、忠次死事理重大ニ有之哉ト審之、相

疑之、右刑科輕重可有之哉ト審之、相

念ヲ生シ候間、罪案之書ニ相

内ヲ以候傷處、條中ヲ為スヲ以、刎刀ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

然白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

隣驅集、忠次死事理重大ニ有之哉ト審之、相

疑之、右刑科輕重可有之哉ト審之、相

添、此段相伺候也、

内ヲ以候傷處、條中ヲ為スヲ以、刎刀ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

然白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

隣驅集、忠次死事理重大ニ有之哉ト審之、相

疑之、右刑科輕重可有之哉ト審之、相

年七月十九日指令

内ヲ以候傷處、條中ヲ為スヲ以、刎刀ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

然白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

隣驅集、忠次死事理重大ニ有之哉ト審之、相

疑之、右刑科輕重可有之哉ト審之、相

懲役七年折

内ヲ以候傷處、條中ヲ為スヲ以、刎刀ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

然白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

隣驅集、忠次死事理重大ニ有之哉ト審之、相

疑之、右刑科輕重可有之哉ト審之、相

懲役七年折

内ヲ以候傷處、條中ヲ為スヲ以、刎刀ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

然白刃ヲ以、打掛候場ニ至ル重大ニ有之哉ト審之、相

隣驅集、忠次死事理重大ニ有之哉ト審之、相

疑之、右刑科輕重可有之哉ト審之、相

懲役二年半